京城日報

平和の曙光
佛國藏相の意見—ヴェルダン戰の結果か

巴里來電に據れば佛國藏相リボウ氏は代議院に於て戰爭終局の曙光見江たりとの意見を陳べたるが右は十六日以來獨軍步兵が全然前進し得ざるヴェルダン戰の結果に對する官邊の意見を示すものなりと解せらる（東京特電）

重慶邦人毆打事件落著

重慶の邦人毆打事件は重慶帝國領事と同地支那官憲の間に損害賠償謝罪將來保障の三條件にて落著せり（北京特電）

故伊藤公追贈

故樞密院議長從一位大勳位公爵伊藤博文卿に對し畏き邊りに於かせられては故公爵が生前の偉勳を御追念遊され遠からず或る時期を以て位階陞陞特に正一位を贈らる可しと（東京特電）

還幸啓

葉山御用邸に御避寒中の天皇皇后兩陛下には豫て仰せ出されし如く十九日午前八時葉山御用邸御出門同時四十分逗子驛發の御召列車にて東京驛著御宮城に還幸啓相成たり（東京特電）

交代兵著釜

交代兵一千二百三十名琴平丸にて十九日釜山著二十日午後二時發列車にて各所屬部隊に向ふ可しと（釜山特電）

兒玉總務局長

兒玉總務局長は大藤關官と共に十九日午前入港の連絡船弘濟丸にて上陸同十時卅分北行列車にて京城に歸任す（釜山特電）

水越鮮銀理事

鮮銀理事水越理瑞氏十九日午前入港の連絡船にて釜山著直に京城へ向へり（釜山特電）

最近鮮鐵運輸概況

朝鮮鐵道二月上旬の荷動き狀態を見るに發送噸數四萬一千八百五十六噸收入十萬六千七百二十一圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て三千六百九十一噸（九分七厘）收入に於て五千二百四十九圓（五分）の增加に當り出荷の主なるものは石炭の九千四百八十九噸を第一とし米五千二百九十六噸之に次ぎ鹽四千八百七十六噸木材二千百六十一噸大豆千三百五十五噸雜穀千百七十八噸鑛石千百六十三噸新五百四十四噸木炭五百二十九噸明太魚四百二十三噸生牛皮三百六十三噸肥料二百九十六噸石油百七十六噸等にして之を前年同期に比し增減を擧ぐれば鑛石千百二十五噸石炭九百八十八噸木材五百五十四噸鹽二百六十七噸肥料百八十三噸雜貨百六十二噸を增加し減少したるものは米の二千八百九十九噸石油二百五十七噸雜穀百六十噸石材百五十二噸にして發送狀況は概して好況なりしに主要貨物の荷動き狀況を述べん

▲米　米價は內地市場に於ける在來の停滯に基づき依然低落を示し荷動き捗々しからず前年に比し二千八十九噸の減退を示せり今全出荷噸數五千二百九十六噸の著地別數量を見るに釜山の千五百二十一噸第一位を占め群山の千三噸を第二位とし南大門の七百七十九噸第三位にあり仁川の七百八十五噸滿洲行二百四十五噸元山の百七十七噸順次相亞ぎ其主なる發驛は裡里、金泉、松汀里、泰仁、信禮等なりとす

▲大豆　も亦引續き相場軟弱にして捗々しき出荷を見ざるも內地直通輸送のみは依然好況にして八百八十五噸を算し總輸送數量の六割强を占む其主要なる發驛を擧ぐれば水原發百四十七噸鳥山發百二十六噸及び金泉發百十二噸等とし其主要仕向地は尾道著の百五噸博多門司岡山著の各四十二噸等とす

▲雜穀　本旬に入り稍々不況に傾き前旬に比し二百二十六噸の減少を見たる本旬の出荷を品種別にせば出荷總數千百七十八噸中粟二百八十九噸小麥三百四十噸大麥百九十二噸小豆百九噸蕎麥六十八噸蕎麥二十八噸玉蜀黍十一噸其他二百四十一噸にして之が仕向地は元山著粟百噸、釜山鎭南浦著小麥各七十四噸南大門著大麥百七噸等を主なるものとす要之本旬の貨物運輸は前旬に比し稍々不況たりしも石炭鑛木材鹽石油生牛要貨物の荷動き好況にして之を前年に比較する時は米雜穀等二三貨物を除きては概ね多少の進捗を示せり

地方費豫算（平南）

總額三十三萬二千七百圓

平安南道の大正五年度地方費豫算は過般來道廳幹部にて審議中なりしが十八日愈々決定評議會の上二十日總督府に其の認可を受くる爲め送致すべしと云ふが本年度の豫算は大正四年を以て始政五年を經り道政の方針一時期に際し現に勸業五年計畫教育五年計畫及び管內三等並に等外道路の治道計畫等も略確定せしに付豫算編成方針從來と趣きを異にしたるもの、如く其結果地方係對各係の間に往復曲折の交涉を經たるに似たり而して愈々決定せる豫算總額は經常部十五萬八千五百五十二圓臨時部十七萬四千二百三十圓合計卅三萬二千七百八十二圓にして前年の普通豫算に比し八萬七千七百圓を激增し居れるも此の中六萬三千六百圓は中村組の寄附に係る敎育基金及び利子を含み居るに付實際の增加は二萬四千餘圓なり而して豫算總額を各係に分てば左の如しと（平壤）

士木費　七萬九千五百五十三圓（此內に平壤排水工事補助費を含む）▲勸業費　六萬九千七百三十八圓（前年より一萬四百圓增）▲敎育費　十六萬一千八百六十三圓▲衞生費　七百九十圓▲救恤費　千百五十四圓▲地方費取扱費其他　一萬二千四百七十八圓

溫氣と麥作

昨今の農況に就き總督府農務課中村技師の談に昨冬來近年稀なる暖氣のため麥の徒長を來したる地方もありたれど其後甚しき寒氣の襲來もなく順調に成育し來りしが二月上旬頃一時氣溫の降下を感じたる爲或は多少地方によりては微弱なる凍害を蒙りたるにあらずやとの懸念なきにあらざりしも今日迄何等の報告に接せざるより見れば杞憂に終れるもの、如し此向ならば本年の麥作も平年作以上と豫想して大差なかるべし

十九日夕刊
發行所　京城日報社　京城太平通一丁目
發行兼編輯人　印刷人
廣告料　定價

陸棉作付反別

朝鮮各道に於て奬勵しつゝある陸地棉の作付反別は昨年に於ては三千萬四百町步なりしが本年の作付反別に就ては未だ調査の結果を發表せられざるも從來の增加率より推算すれば四萬八千町步位に達す可き見込なり

福壽洋行組織變更

京城の染料輸移入商福壽洋行は今回組織を改め山田合名會社京城支店として筋の認可を受け近く開店すべしと

川村中將薨去

豫て金澤市長町五番丁五十六番地なる邸にて病氣療養中なりし第九師團長陸軍中將川村宗五郎氏は十八日午後十時遂に逝去せり享年五十八歲

陞敍

病危篤の旨天聽に達するや特旨を以て左の如く陞敍の御沙汰ありたり

陸軍中將第九師團長　正四位勳二等功三級　川村宗五郎

叙從三位

因に葬儀は廿一日金澤に於て佛式を以て執行せらるべく喪主は宗吉氏にして今春幼年校卒業の筈なりと

ク博士歡迎會

京城在留の外國人團は目下入京中のクラーク博士夫妻及びベテー博士のため十八日午後四時より六時迄南大門通エビソン氏方に於て歡迎會を開きたるが來會者百數十名にして盛會なりき

ク博士一行平壤行

入京中のクラーク博士並びにベテー博士一行は廿日午前九時十分南大門發の列車にて平壤に向ふべしと

簡易實業學校新設

從來京城に於ける內地人間に實業敎育に關する施設を切望する者多く曩に日出小學校に於て京城補習夜學會なる名稱の下に一般子弟の夜間敎育を爲し來りたる處其の成績の頗る見る可きものあり現在百餘名を收容せる次第なるが其後各般の事情に鑑み之を學校組織に變更するの適當なるを認め今回京城學校組合にては大正五年度に於て前記補習夜學校を改めて簡易實業專習學校とし依然日出學校內に附設し夜間を利用して現に實業に從事し又は從事せんとする者に必須なる知識技能を授け併せて普通敎育

をなさしむることゝなり敎員には…準の委任外に二三の囑託を設くる方針にて千四百餘圓の豫算を計上せり

元山

▲學校組合會議

元山學校組合は十七日午後七時より府廳內に於て議員會を開き大正四年度組合費入出追加更正豫算及び大正五年度歲出入總計豫算及び賦課徵收等に就き協議する所ありたり

▲授業料評議員會　既に一應評議員會に於て決定せる協議會殘金及び徵收處理に關し一部異議者を出すに至り當時の會長村地府尹は十四日午後六時商業會議所樓上に評議員會を開き再議の結果異議者側の要求は多數を以て否決せられ遂に前決議に據るべき事に決定せり

▲女學校新入學生　元山實科高等女學校本年度に於ける卒業生は十二名なるが新學期開始と共に入學すべき者は確定十五名にて何他地方よりの申込みを合し約二十名に上るべしと

▲築港工事と軌條　築港工事現場より赤田川砂利採取場に至る砂利運搬用輕便軌條は海岸通全部の布設を終りたるが更に新通路より德源街道を赤田川に至る大部分は軌條到著と同時に設置の豫定なり而して今回土運船五隻は二千五百五十圓にて元山澤非造船所に落札し同所にて目下製造中なり

▲府尹の議員招待　村地府尹は新任以來現任の學校組合議員を十七日午後六時より喜久の家に招待酒宴を催せり

▲水道料金値下　去る十五日の府協議員會に於て決議せる水道使用料の改正値下げは專用栓建坪十五坪まで一圓二十錢を一圓に以上五坪を增す毎に三十錢なりしを二十錢となれり然るに尚一般市民は大々的値下げの斷行を希望し居れるもの、如し

▲鐵道側移動　元山驛に在勤の助役小林友吉氏は鐵道現業方面に於ける定例移動に依り京城驛助役に榮轉する事となり其の後任として京城の郊驛に在勤せる助役宮部藤吉氏に決定せり

忠州

▲兩道長官來忠　李慶尙北道長官は一等道路視察の爲め聞慶延豐を經て十六日來忠せり是より先き鈴木忠淸北道長官は忠北慶北一等道路の協定に關し同日特別自動車にて來忠慶尙北道長官を迎へて主賓とし午後七時より忠州官民有志七十名を末廣に招待し歡迎宴を催し主客共に歡を盡し散會せり

群山

▲學校組合　既報續行中なりし群山府大正五年度歲入出豫算協議會も愈々十八日を以て全部議了閉會の筈なるが二十日より群山學校組合會を開き學校組合大正五年度歲出入豫算其他に附議すべき豫定なりと

釜山

▲吏員表彰　釜山府廳にては管內優良吏員を表彰することに決定し其の表彰狀及び賞狀授與式を二十一日午前裡里釜山府廳に於て擧行すべしと

大邱

▲慶北諸稅成績

三月十五日現在慶北道に於ける諸稅徵收中比的成績よきは地稅の九割五分九厘戶稅の九割八分一厘酒稅九割九分九厘煙草稅九割九分二厘今稅別を示せば左の如し（▲は市街地稅）

稅目	調定	收入	步合
地稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
戶稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
家屋稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
酒稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
煙草稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鑛區稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜種稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
驛屯賭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
屠場稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
市場稅	[illegible]	[illegible]	[illegible]

金剛より　獻名

▲金剛は玄風大邱街道に當る無名の僻地なれど南方に豹の巢窟なる金猪山ありて名あり金猪山より琵琶山に至る山脈綿々として數里に亙る所山水の風致愛すべきものなきに非ざれど豹の被害又恐る可きものあり

▲二月を金剛駐在所に聞く金猪山上の斷崖に白布もて鼻口を掩ひたる幼兒の屍體を發見せりと無論豹族が墓地より發掘せる屍體なり獸類の所作憎みても餘りあり附近鮮民の斷害を恐るゝ事甚だし

▲豹捕獲獎勵　慶北達城郡金剛玄風附近豹被害未だ跡を絕たず目下分娩生產期なれば服部警務部長は大邱署に命じ特に多額の懸賞（一頭二十五圓の賞與）をなし巢窟を搜索捕獲せしめつゝあり

▲慶山模範畜產組合　慶北慶山郡畜產組合は昨年六月創立以來少しも國庫の補助も得ず全く自給的に技手を聘し著々發達を圖りつゝあるのみならず五十有餘に亙る會員の協力頗る圓滿にして組合費の如きも完納するに至り目下種牡牛二十五頭優良牛其他の頭數四十有牛舍六、牧場三萬七千町步を有し眞に模範的組合なりと

盈德

▲畜產品評會　慶北盈德郡にては來る廿三、四二日間邑內に於て畜牛品評會を開き廿四日是が褒狀授與式を行ふ慶北道よりは常松畜產主任及び小林技手臨席する筈

釜山

▲守備隊一部の交代　步兵第二十四聯隊第十二中隊下士卒七十九名は十九日御用船琴平丸にて著釜午前八時稅關棧橋より上陸す之れと交代す可き釜山守備隊下士卒七十一名は來る廿九日午前八時稅關棧橋より御用船にて歸還すべく當日は愛國婦人會委員其他一般有志等の見送り等も盛なるべし因に若松府尹は同兵に對し紙卷煙草を饋別として寄贈すべしと

▲商業學校假校舍借　釜山公立商業學校は火災に罹り校舍燒失したるに付再築迄は假校舍にて敎授する事となり元居留民團役所建物を四月より九月迄無償にて借受くる事に決定したれば入學試驗は豫定の期日に施行すべし

▲水產新市場開市　釜山水產會社市場の新築は最早完成したるに付來る廿日より新市場に於て開市す可く事務所は目下設計中に付當分の間同市場接近の倉庫內にて執務する由

▲商議事務所の移轉　釜山商業會議所にては現在の假事務所を商工俱樂部に改造の爲め隣須館階上に移す筈の處種々なる都合上協議の結果釜山第三所樓上に移轉する事に決定せり

▲尋高小學校の學藝會　十八日午後一時より釜山公立尋常高等小學校に於て學藝會…の開催あり來賓及び父兄の參觀にて盛會なりし…階上にて各學級…の成績陳列發表ありたり

▲朝鮮時報廿五年祝賀會　朝鮮時報社にては廿一日の…同社創立廿五週年の祝賀會を釜山座に於て開催する由にて各方面に招待狀を發し…當日は午前十時…煙火打揚げを合圖として開會し式後開宴餘興ある可しと

▲橋本警察署長出張　釜山警察署長橋本秀平氏は十八日午後一時出帆の海州丸にて統營に出張廿一日馬山を經て鐵路歸釜の筈

▲檢查員の任免　…

大阪通信

▲武富藏相　同藏相は來月上旬貨幣檢查の爲め來阪の筈にて新任後初ての下阪なるを以て內債及び露國藏券問題等の重要なる問題多きを以て多分銀行業者とも會見し意見を交換すべしと期待せられつゝあり

▲社外船の狀況　船主同盟會の調查に依れば本年一月以降に於ける五百噸以上の賣買取引ありたる船舶數は二十七隻七萬九千八百噸價格二百三十七萬五千五百圓にして一噸平均二百十九圓八十錢に相當せるが猶現在我社外船は總數二百三十八隻五十五萬九千五百三十七噸中遠洋航路に從事せるもの九十四隻二十九萬七千五百四十噸にして內內地人傭船五十隻十四萬七千三百二十二噸外人傭船三十六隻十二萬五千六百六十四噸自營八隻二萬四千五百五十六噸の割合を示し近海航路は內地人傭船八十二隻十八萬二千四百九十五噸自營六十二隻七萬九千五百噸なり

▲英鐵禁輸交涉　現下の造船材料は英國の鐵材輸出禁止以來米國筋より供給を仰ぎ居れるが就中龍骨船底等の骨材は米國筋のものにては充分ならず矢張英國品の供給を俟たざる可からざるものあらん川崎造船所、三菱造船所、大阪鐵工所等は此旨農商務省に陳情し二三委員を英國に派遣して鐵材輸出解禁の交涉をなさしむることに決定せり

▲鋼帶材料不振　大阪鋼帶材料輸出同盟會にては過般露國赤十字社より百五十萬封度の材料を引受けたるに露國當局との行違ひより粗製濫造を口實の下に多大の値引せられしより其後商談なかりしところ最近大口の注文ありしも現下の原料騰貴の折柄到底商談は成立せずと（大阪發）

統營より

[illegible]

人事消息

▲金子捨三郎氏（第九師團步兵中佐）十八日著山上陸龍山へ

▲笠井平三郎氏（在公主嶺騎兵大尉）同上北行

▲兒玉總務局長　十九日午後九時南大門驛著歸任の筈

▲水越鮮銀理事　同上

晴洲將軍南遊詠草

次李蘭菊吟社長韻二首

春風一路拂征衣。四海同仁仰帝威。蘭菊由來君子樂。謳歌聖世放餘輝。

春雪霏々未放晴。殘山剩水繞邊城。南船北馬何多事。沒却風流奈老生。

自麗水向順天

長海曲沛往如還。十里行程碧水間。黃鶴靑松春日麗。惠風吹度古城山。

全北訪古墳

閑兵旬日湖南路。憑吊千年古國墟。二月山中春雪淺。寒林落日暮鴉群。

統營有感

細雨霏々春已中。遙岑一角雪始融。此行究竟無他事。采俗聞風亦奉公。

彼岸　大塊

無常とや鐘は彼岸の夕間暮

彼岸會や數にもみ込む珠數の音

○　虎耳

天人の姿彼岸會鐘に見る

新羅像の只一つある彼岸寺

養鷄で三十圓

朝夕の寸暇を利用して小資本で誰にでも…

▲同日本家禽協會　▲飯田簡易養鷄法　▲飯田實用養鷄法　▲山口彩色學家禽圖　…

特典…振替…五參東京芝…番三へ

無代進呈

…家庭用…

胃腸最新藥

ヂゲスチン

●說明書進呈　京城本町　合資會社　圓城商會

滿洲五龍背溫泉

安奉沿線五龍背驛を距る二丁
閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
風光絕佳にして一大樂園地たり
諸病に特効あり理想的療養場なり
宿泊、下宿、自炊、各種の設備あり

春の指輪

十八金彫刻指輪　價五圓六十錢
日送料內地十二錢　口　振替東京九八口

東京日本橋　日本屋吳服店

炭酸加里　鹽化加里

京城府岡崎町
朝鮮製藥所
電話長二百十五番　振替京城二三〇〇番

◎薨去せる川村將軍

果斷に富める武人肌の眞軍人　青年將校を困らせた北漢山登り

▲懷かしき絶筆　立花警務總長談

川村師團長を一言にして言へば東洋流の武人肌の武人だ恬淡自暗に忠にして友や部下に對して親切であり然も戰場に出ては勇氣あり禍に臨み果斷に富む質に

■好箇の軍人　である我輩は確か廿五六年だつたと思ふが師團長が大尉教官で我輩は中尉で大尉教官心得をやつて居た夫れも一年位で其後更に同じ土地で任官する樣な機會が無く朝鮮で落ち合つた譯だ師團長は曾て士官學校の教官兵站部副官、第五師團參謀等の要職を經由し其大部分を軍隊生活に過して居る、思ふに其性能は教官や參謀よりも寧ろ砲煙彈雨の中に立つて

■劍を振つて　指揮する方に適してると思ふ面白いのは名古屋で大演習のあつた時今の軍司令官井口中將と對抗して演習した事で何でも其時川村師團長の果斷な處置が非常に評判になつたものだ何しろ大學出で無くて今日の地位迄進み得たと云ふのは師團長の凡ならざる處だ師團長が病氣を知つたのは昨年の八月頃だとか云ふ事で

■秋の御大典　に參列した時に胃が惡いと云ふので東京で青山博士の診察を受け少し怪しいけれど、京城には森安、佐藤兩博士も居るからよく養生すれば大丈夫だと云ふ位で京城に歸つて來た其れから佐藤博士の診察を受けた處が此處でも癌の斷定は與へられなかつたらしい昨年の暮も押し詰つた二十九日か三十日頃

■龍山の官邸　に見舞ふと丁度芳賀院長が來て居て其の時師團長は「今い、事を聞いた處だ愈々癌だと極ても胃に穴を開けて食物を通せば二三年位ゐ保つ相だ」と眺笑して居た此正月にも第三十五聯隊で井口軍司令官と我輩と三人落合つて屠蘇を酌み交はし其れから師團長と一緒に南大門の互禮會に行き師團長の發聲で萬歲を唱へたが

■其の時の聲　など仲々元氣なものだつた處が四五日頃に電話で福岡に行つて診察を受けて來ると云ふ話で確か十一日に出發したのだが丁度何かの都合で見送りもせず後から見舞の手紙を出すと暫く別府にでも行つて養生すると云ふ師團長の眞筆の返事が行つた、思へば其れが今では懷しい師團長の絶筆と成つた師團長は實に不幸な人で夫人の鐵道自殺した原因もよくは知らぬが長女が非常なヒステリーで其爲めに離縁されたりした事を心配されたものらしかつた其内に

■日露の役で　師團長は聯隊長として出征したが其心痛の爲めに非常に憔悴して龍樹庵では一時どうかとさへ噂されてゐた位だつたが凱旋すると間も無く旅團長となり更に師團長と成り朝鮮に來た時などは非常に元氣なものであつた今日又起つ能はざる事に成つたと聞くは實に悲痛に堪へない次第である

從三位に叙せられた川村中將

▲若い時は酒豪　小山九師團副官談

師團長閣下が第九師團長に補せられたのは大正元年十二月廿六日である余は其時既に金澤にゐたので大正三年四月十九日

■龍山に著任　の時もお供して來たのである閣下は平民主義のお方で部下を愛するの情篤く御若い時は仲々の酒豪だつた相で逸話も多いさうだが近年は斷然お止めになつてたが其れでも他人に酒を勸めるのはお好きで部下の將校など訪ねて行くと盛んに勸めて盛に語られたものだ近頃でも元氣は壯者を凌ぐ許り頗る旺盛で昨年の三月十日の陸軍記念日には諒闇中で祝賀會などの催しがなかつたので

■自分で主唱　して第三十五聯隊の將校連中と一緒に成つて北漢山登攀をやり然も南麓の最も險阻な處を選び青年將校に驚かせた事などもあつた實に壯快の氣風を有つてゐられた

▲驚く可き研究家　第三十五聯隊附　瀧陸軍中尉談

確か一昨年あたりだつたと思ひます非常に雪の降つた日に廿五聯隊の

■新補の少尉　が七八名官邸に御挨拶に行つて玄關で失禮する筈だつたのが是非と云ふので一室に通されたはよいが何彼と話の進んだ拍子に『君等は漢江の氷はどの位の厚さがあると思ふか』と云ふ御質問があつた相で一尺位ありませうとお答へすると意外を顧みて『此雪はどの位積つてゐると思ふ』と云ふ御質問でした二尺位とか三尺位とか

■勝手な想像　を答へると又更に『此位の雪さて其積はどの位あると思ふか』と云ふ質問です二寸三寸と云ふ之も想像で御返辭すると閣下は『君達は實際漢江に行つて見て土を掘つて檢したか』と云ふ質問を發せられた、是れには誰一人然りとお答へし得る者が無かつた其處で閣下は『君達はまだ若い、爲すべき事が澤山ある爲し得る時がいくらでもある』然も

■今後の戰爭　と言へば先づ滿洲だ滿洲は朝鮮の北にある、諸君が此朝鮮に來り駐屯して居ると云ふ事は此上もない絶好機會だ此機を利用して諸君は大に實地の研究をして貰ひたい」と諄々として說かれたのには若い少尉達も一言なく感じ入つた相です閣下の御敎訓は殆んど總て此樣な實物教訓です然も御自身では寒い日など裏に出ては馬丁を呼んで鍬で土を掘らせたり積雪を計らせたりしてゐられるのでした誠に我々の模範とせねばならぬ驚くべき研究家であります

◎川村將軍追悼　廿一日南山町本願寺にて

川村中將薨去の報に接したる龍山第九師團司令部にては二十一日午後二時より南山町本願寺に於て追悼法會を營む事に決定し同師團將校は勿論步兵第廿五聯隊よりも其れ〳〵代表者をして參拜せしむべく頻りに準備中なりと

◎視學官の觀たる市中の興行物　視學官　秋山鐵太郎氏談

觀世物にも種々あるが、其重なるものは芝居と活動寫眞とであらう、芝居にも隨分如何はしいものがあるけれども活動寫眞は一層甚しい樣である尤も其中精選せられたものには

◇社會教育上から　見て頗る有益なものがないではないが現今普通に流行して居るもの、中には益よりも却つて害あるものが尠くない、殊に活動寫眞に在つては新奇を競ひ好奇心をそゝり、人間の弱點を利用して大に觀覽者を吸集せんとする射利的考慮から社會教育上の利害などは更に顧みない爲め其
□誠に悲しむ可き現象　□警告の一層甚しいのは
である、一體習例は言說よりも更に強い印象を與へるものであるから芝居や活動寫眞は之を善用すると否とに依つて國民の教育に非常な影響を及ぼすものである、近頃内地の新聞を見ると往々ジゴマ團、ジゴマ少年など、唱へて隨分思ひ切つた強迫や暴行を企てるものがある樣だが之れ等はいふ迄も無く活動寫眞の

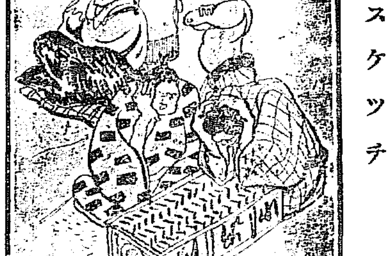
◇與へた惡影響　に相違ないと思はれる、其他活動寫眞の及ぼせる惡影響の實例は殆んど枚擧に遑の無い程で洵に忌はしい極みといはねばならぬ、教育上の思慮を缺いだ芝居や活動寫眞が見物人の德性に惡感化を與へることは前に述べた通りであるから、之に對しては何れの國家に於ても必ず一定の取締法が設けられてある、此□取締は行政上のもので□主として警察に依つて執行されてゐる、例へば獨逸では芝居に就いて云へば興行の際に認可を受け、又興行してゐるものは常に監督を受ける、而して其内容に就いても檢閲を經ねばならぬことは勿論で其他一般の見世物に就いても大體之と同樣の取締法が設けられてある、佛國では見世物興行は頗る寬大であるけれども

◇其内容の檢閲　に至つては極めて嚴重で社會の秩序を攪拌するもの、健康上有害なものなどは警察で以て矢釜しく干渉することになつてゐる、英國では内容の檢閲が一層嚴重で例へば芝居では興行七日前に其筋書を提出して官憲の檢閲を受けねばならず、其許可せられたものでも何時たりとも差し止めることを得るのである、又た□米國では子供に見せる□活動寫眞の取締りは非常に嚴重だといふことだが之れ等は國民の社會教育上から見て當然の事と思ふ、されば國家が之れ丈けの取締をして居ればそれで充分であるかといふと決して左樣でなく、之れを見物する上に於ては更に大に注意を拂はなければならぬ、殊に少年の見物者に對しては深甚なる注意が肝要である、之れ少年は

◇思想が幼稚で　是非善惡を公正に判斷することが六ケ敷く不知不識の間に感化されて遂に之を模倣するに至る惧があるからである、故に教育上學校では之れに對して嚴重な取締を加へなくてはならぬ、我朝鮮では學校生徒は妄りに之を觀覽せしめぬことに定められてあるから□各學校では此方針で以て大に取締つてゐるが、外國でも教育方面から此取締は頗る嚴重に行はれて居る、例へば伯林の警察では年齢十四歲未滿の少年に對しては夜九時を過ぐれば假令小供の爲めの見世物場と雖も其處で見物することを許さない、之を犯す者には十五圓以下の罰金を科することに爲てゐる、又バイエルンの

◇生徒取締規則　中には『如何なる場合にも料理店又は公衆の娛樂場に入ることを得ず』と規定し、之を犯す者は相當の罰を附することになつてゐる、佛國や英國は大體寄宿舍主義だから此方面に對する生徒の取締は一層能く行はれてゐるといふ（つゞく）

合併相撲スケッチ



大錦の暗涙（四日目）大阪方の總大將大錦君も連日の敗戰に、聊か固くなり今日も又、小結者綾の一瀨にしてやられ目に涙を浮かべ年寄部屋へ引き上げる、友綱部屋の面目丸つぶれて、あかん〳〵大將がかう負けよつては角力も困るわなと、ぼやきにも師匠は口惜しさのあまり口元に冷笑を浮べ乍ら自らを嘲るが如く嗚呼角力取りは厭になつたと。責任の重大なる事を自覺してはさもあらん。同情に値する。

◎門司港内にて　汽船衝突　鐵板を破らる

門司碇泊中なりし米國汽船ベナンチュラ號（四千八百八十一噸）は十九日午前八時浦鹽へ向け出發の際碇泊中の汽船上海航路の八幡丸（三千二百九十噸）の左舷部に衝突し八幡丸は水上の鐵板二枚に龜裂を生じ應急修理を施し居れり米國船には何等の異狀なし（門司特電）

◎醬油會社紛爭　事件落著

京城に於て注目すべき事件として昨年來京城地方法院に於て取調べ中なりし植木爵氏對宇惠喜留醬油株式會社紛爭事件に關し同會社の二三重役は檢事局より家宅搜索を受け或は召喚取調べを受けつゝありしが此程該事件は裁判所の調停に依りて和解となり全部事なく落著したり

◎咽喉を突て謝罪　智慧の廻らぬ小泥棒

十七日早曉平壤農學校構内に積みありし高山校長の松葉二十把並に寄宿生の分四十把が跡もなく消え失せ居るより校長は直ちに生徒廿名を引率して附近を搜索せしに松葉は農學校の東側より柵外に搬出したる形跡あるにぞ漸次大同江岸に向ひたるに江岸へ廿五把の松葉積みありそこに平壤柳町六〇番奇道淳なるもの躍ろ如く身を潜め居るを發見し高山校長は二三押問答の末生徒と共に曲者を學校に引致し且つ行停車場派出所に通告せしかば時を移さず警官出張件の人を拘引せんとせしに同人は其の所持へゐたる洋刀にて己れの左咽喉部へ斜に突立て微傷を負ひたり尙ほ其筋の取調に對しては松葉を盜つて宅へ行くは阿呆らしい故死んで終ふ若へなりと申し立てたる由なれど死を覺悟せしに非ず微罪を宥して欲しさの狂言なりしならんと（平壤）

◎藁火から出火　子供の火弄りは危險

十八日午後四時頃京城崇二洞百二十番地農南乗浩（三一）方より發火し鍾路警察署員南大門警察の常備消防隊及び鍾路署員出動防火に努めしため同四時二十分鎭火せり燒毀したるは火元及び隣家を併せ二戶二棟にして何れも平屋燒損害約十五圓なり原因は家人の外出不在中同家の長男壽昌（九）二男壽昌（六）長女桂順（四）の三兒が火鉢の炭火を弄び傍らにありたる藁に燃え移りたるものなりと

◎第二回朝鮮短歌會　投稿締切は廿日

既報の如く朝鮮短歌會第二回大會は四月三日開催の筈にて投稿締切り期日は來る廿日限り廿四五日頃迄には批評したる上詠草を投稿者に配り投稿者各自の互選となし四月三日の大會に於て之が成績の發表と共に批評討論を爲すべく既に數十通の投稿ありて前回に比し遙に盛會なるべしと思はる因みに投稿には必ず金十錢（一題分）代用不苦）封入の事、投稿は京城日報社内朝鮮短歌會幹事宛

皮膚病專門 ◎醫師練習員募集廣告

當病院長川村恒夫今回滿鮮各地漫遊ノ途次左記項目ニ付

あざノ種類（母斑、血管腫、白斑、文身、腋臭、酒皶鼻）

一市一郡一名乃至三名ヲ限リ醫師ニシテ練習希望者ハ來ル四月十日迄ニ申込相成度其順序ニ依リ採用ス追テ日ヲ期シ便宜著名ノ地ニ出張シ實地練習ス

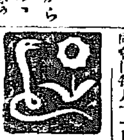
大阪西區新町通二丁目電長西六七六 川村病院

◎又も猩紅熱

京城南米倉町百九十七番地佐藤てる子（一〇）は三月十七日發病十八日診斷猩紅熱と判明し加療中なるが同人は南大門小學校生徒なれば同校は大消毒をなせり

◎門外懇話會

門外懇話會例會は十七日夜矢部旅館内に開催せり來會せる有志五十名肥塚幹事諸種の報告をなし天日會長の挨拶並に滿洲視察談あり其他種々門外發展に關する有益の談話あり相互歡を盡して散會せり因に同會は毎月十一日開會の筈



▲十九日の麗らかな日曜日は手を携へて郊外に遊ぶ人が多かつた陽光は正に春である▲長谷川町の通りを黒い毛色の山羊を伴れた鮮童が二人通つた『山羊サリヨ五圓安い』といふ、山羊の背には暖かい日が輝いた▲昌德宮敦化門通り突當りの鍾路の通りは頃日家を取壞して居る、遠からず黄金町につゞく道路が出來るといふはなし▲南大門驛では昨今非常に乘降客が増えて、入場券は一日平均五百枚宛賣れるこれも氣候の所爲であらう▲十八日の夜十時頃若草町の火事場跡附近ではまた〳〵荒井牛乳店が半燒けとなつた願くば若草町を枯草町にして貰はぬやうに……。

◎珍しい岡燒男

金教奭（三九）は鍾翊夫婦の樣子を見て急に癪に障りしと見え同人夫婦に喧嘩を吹きかけて爭鬪を……

昨年十一月二十五日同郡三島村字物部名納税者島内武秀（三七）氏の弟武忠（三〇）を殺害したる事件の公判は……し控訴棄却を要求せり（大阪支局）

◎文券を僞造す

京畿道始興郡北面黑石洞農柳基乙（三〇）は居里……預り居るを奇貨とし大正四年舊正月……地所を山主より買受けたる如く文券……檢事局に送りたり

◎連絡船上陸客

十八日午前……十八日夕釜山入港新羅丸一二三等客（百五十四名）……

天氣　晴れ後曇り

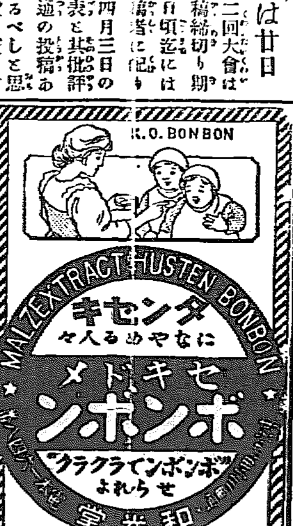
謹告

一保險金壹千圓也

右は阪上ジャウ儀日清生命保險株式會社と契約致居り候處今般死去致し候に付頭書の金額同社群山代理店湖南商會を經て受領仕候に付此段謹告候也

大正五年三月七日

群山 保險金受領者 阪上貞信



▲効力確實なる爲め醫家に賞讃せられ▲旨き味菓子より老人小兒に▲携帶に便なる爲め用事家旅行家に愛せらる

祝三千號記念　晉州榮町　和洋化粧品其他小間物商　佐久間弘二商店

池坊流　生花講義錄　短期速成最も容易に習得せしむ師に就きて口授を受くると異ならず會則附　見本進呈送料二錢郵券を送れ◎東京四谷區須賀町◎日本華道會

祝三千號記念　全羅北道黃登　臨益水利組合職員一同

專賣特許宿谷式噴霧器

◎一の噴霧口にて細大遠近自由に使用し得
◎製作堅牢實用向にして價格最低廉
多數共同購入及び卸取引は大割引

京日廣告に因る者御申越の方特別割引

東京　發賣元　角谷商會
朝鮮代理店　釜山辨天町（電話釜山八三振替京城三九二番）　マルカク商店

祝三千號記念　全羅北道金堤郡奉月里　桝富農場　主任　平富榮一

內科胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川淳夫　石川醫院　電話　專用二七二三　二九三番

◉櫻の春の浪花女

上流婦人界の新しい趣味＝家庭的交際が盛んになつて來た

桃の時代が過ぎて軈て櫻に移る此の頃大阪の上流婦人界に於ける家庭的娯樂の模樣はどうであるかと云ふに從來純粹の大阪の女ともいふべき婦人は一般に外出嫌ひで從つて家庭的の交際とかまた

△家庭的の娯樂にも頗る不熱心であつた早く云へば音樂好きの奥樣が同好の婦人を自宅に招いで家庭的の音樂會を催したりまた茶花などに於ても斯うした家庭的趣味を味はふといふ婦人は極く少なかつたが近頃はだん〳〵と東京風に感化され家庭的交際の必要であることが一般に判つて來た日銀支店長夫人麻生富久子は一中節が好きで其の音調の美しいことは確かに第一位との噂であるが同夫人を筆頭に昨今は上流婦人界に此の

△一中節が歡迎され緒方禎士、大久保知事、佐多博士、村岡提理の各夫人に吉崎李枝子、阪野龜代野子などは頗る熱心に毎日稽古をなし、そして今月廿日は麻生氏方で會合が催されたならば來月は吉崎氏方と云つた風に毎月一回同好者の宅で家庭的會合が催されてゐる、また高島千代造氏夫人、八木與三郎氏夫人など斯うした船場を中心とせる實業家の所謂御寮人方の間には

△淸友會が組織されてゐて之れも毎月一回會員の宅で茶の會を催し其の席には會員はじめ會員の家族を招き一日を面白く且つ樂しくすると云ふ風にしてゐる、また南海電車の沿線濱寺には增田銀行主增田信一氏夫人喜久子をはじめ南海社長大塚維明氏夫人、宇治電の專務村木正憲氏夫人などの間には管絃團といふピヤノの會が組織され毎月會員の宅で美しい會合があるまた一時隆盛を極めてゐた盛花はやゝ廢れて來た氣味があるが併し船場を中心として一般の上流婦人間には矢張り歡迎され故小原六合軒の門人である大久保知事夫人、池袋局長夫人にまた

△實業家の奥樣では山口信子、中村照子、小西菊子、谷千代子など約二百名の花の會なるものを設け月一回づゝ會員の宅で挿花會を催されてゐる、そして來月二日三日の兩日は故小原宗匠追善のため元美術倶樂部で大會を催されるさうであるが兎に角今までは餘り家庭的の交際をせなかつた浪花女も斯うして追ひ〳〵と新らしい方面に感化されて來たのは誠に喜ばしいことであるこれに淸水谷、夕陽丘、市岡の各高等女學校でも成るべく家庭的交際を盛んならしめることに力めてゐる（大阪支局）

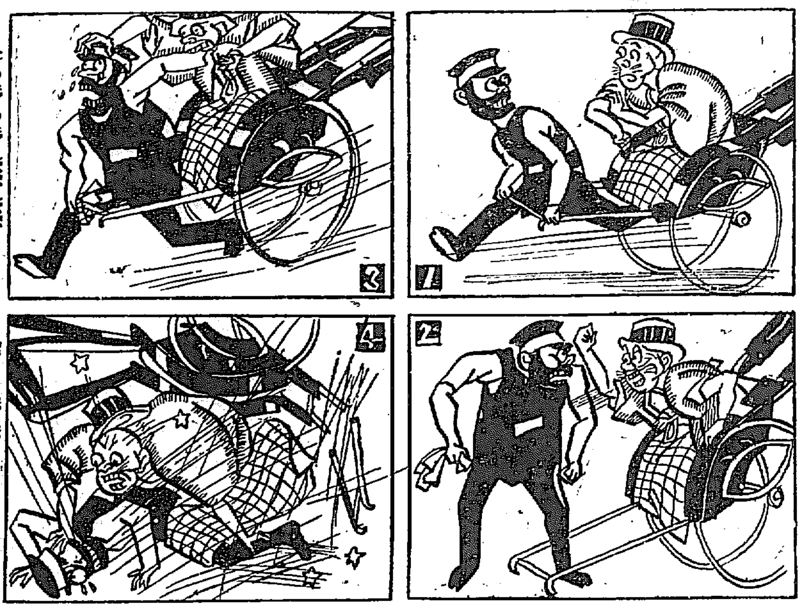
日曜漫畫 京阪合併相撲……めちや吉

（一）贅六の客「オイ俥や、大阪の合併相撲は面白いナ」江戸ッ兒の俥夫「旦那面白うがすね」客「東京の相撲は强い〳〵云ひよるけど、勝に弱いナ」俥夫「チェッ冗談ぢやありません」客「けど見い、横綱ちや云ふて威張つてたかて、西の海はどうぢやい二遍も負けよつて――」俥夫「旦那大阪方は揃いも揃つて坊ちやぢやありませんか」

（二）「阿呆云ふな、勝負は時の廻り合せや、大阪方やかて、勝つ時は勝つぞ、一體東京の相撲は何んぢや、南瓜の潰れた様な顏してけつかるさかい、女に惚られんよつて自然と腕力が出るのやないか、大阪方は皆男前が好うて、氣質がよつて女に惚られるさかいナ――」俥夫「降りつちまいな〳〵、手前の様な贅六を乘つけたつちつたら江戸ッ兒の名折れだ、何なんか要らねえや、降りろつたら早く降りねえか、何を愚図〳〵してやがるんだい、贅六奴」

（三）客「理屈は理屈、商賣は商賣やないか、そないに怒らんと早う走りんか、そやけど何やナ、東京の西の海かて大錦かてもちつと强いかと思うてたら腰抜けやナ」俥夫「未だ吐かしやがるナコン畜生！、胴眼潰つて頭突を突込むぞ、オイ〳〵贅六静かにしれえ、俥の上で暴れるなら降りつちまえ」客「途方もない口の趣者ナ餓鬼マナ、端ッ江戸ッ兒も高戸ッ兒もあるもんか」俥夫「ア痛え〳〵コン畜生！」

（四）さう〳〵国下へ闘體に落ちてこの相撲〇預り

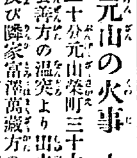


東西合併相撲星取表（○勝●負×分▲預ヤ休）

方	力士	成績
東京方	太刀山	[illegible]
東京方	鳳	[illegible]
東京方	西ノ海	[illegible]
東京方	朝潮	[illegible]
東京方	大錦	[illegible]
東京方	對馬洋	[illegible]
東京方	綾川	[illegible]
東京方	[illegible]	[illegible]
東京方	計 勝百三十四 負四十六	
大阪方	大錦	[illegible]
大阪方	加古川	[illegible]
大阪方	小染川	[illegible]
大阪方	松ノ音	[illegible]
大阪方	千舟川	[illegible]
大阪方	[illegible]	[illegible]
大阪方	計 勝三十三 負百六	

◉元山の火事

十六日午後十時二十分元山榮町三十七番地雜貨商權藝善方の温突より出火し同家の一部及び隣家富澤萬藏方の一部を燒きたるのみにて同十一時全く鎭火するを得たり（元山）

京城本町 日本蓄音器商會
月賦販賣 附品


御申越次第規約書進呈

國境の實業界

◉安東縣名產館 鴨綠江材の製品

國境の經濟を支配するものは鴨綠江材で年々數百萬圓の富を各地より集めつゝあるがそれは原木とか板角材とか極く大ざつぱなものに過ぎない然し從來上流地方に產する灑楽樹で

△貴重な指物品を製出したならば必ず前途有望で亦安東縣の一名產たるを失うまいとは何人の腦裡にも浮んでゐた現吉田領事も任度此の説に耳を傾け試驗的に指物類の製作を試ましめた所成績存外良好だつたから之れを安東の名物男たる

逢磨商會主高橋眞二氏に諮つた結果大正四年の春市場通の五丁目に安東縣名產館は同氏個人經營として設立された同館には鴨江材製品たる新洋家具、美術小細工品、印章、彫刻類一切を陳列し其の裏手の工場で切りに諸種の製作を急いでゐる高橋氏の話によると諸多の製品中桑眼細工の如きは極めて精巧優美よく出來西洋家具の如き之れを京城の販賣價格に比すると

△三割方安價に出來書架、卓子、椅子の如き精巧な細工で寄木細工、い板の扉に繪を書いた物の寄木細工乃ち楊聯の板も巧な逸品を製し桐の下駄類も決して內地製品に遜色はない更に五六百年以上も星霜を經たアララギ（イチイ）で製した硯箱（代價八五圓）抽斗付の銘盤の如き美事だと云ふが先年持く久邇宮朝香宮兩殿下の御成らせられた時アララギ製の書架、茶戸棚並に外の小細工品の御買上があつた亦支那人はアララギの鋸屑カンナ屑を煎じて糖尿病腎臟病中風等の良藥にしてゐるが本館はアララギ屑でエッキスを作り希望者に分つてゐる今後は鮮滿各地に

△鴨江材家具の大販賣をやる積りだと云ふと元來名產館の事業は初めの計畫によると領事館より年額一千圓位の補助を貰ふ事になつてゐたらしいが遂に事實に現はれず今日に至つた然し安東名產を廣く各地に紹介し亦販路を擴むるには相當の補給を官廳で與ふるのは當然だし必要だと思はるゝ右の外高橋氏の本業は逢磨商會で安東錚々の貿易家であるが其の主要取引品を見るも一箇年二十萬圓に及ぶ砂糖それから死斯エンジンで一箇月一千石の精米生產並に自轉車の販賣をもやりつゝある肩書としては安東銀行取締役民團行政委員商業會議所議員安東木工廠理事通關會社々長を勤め軍政時代から

◉滿鮮運送の事業

國境輸送機關の中心 長く植ゑ付けた勢力は確かなものだ趣味は禪學にあると云ふ

新義州に其の本店を有し安東縣に支店を設け更に安東縣江岸に棧橋部を置き國境輸送機關の中心たる觀を呈する滿鮮運送株式會社は既に創立十數年の歷史を有し年々多大の配當をなし名實共に其の信用益々高く旭日昇天の概ある同社は新義州安東縣の兩地に於ける製材業並に原木を輸送するは勿論殊に安東側にありては採木公司專用線を使用して堂々さ貨車を運轉する所仲々大仕掛けだ、亦新義州と安東縣との間の渡船業をも營み洋たる鴨綠江を横斷する貨客を一手に引受け多大の便宜を一般に與へてゐるのは今更說明する迄もなからうが其他陶業倉庫業人夫供給船舶取扱及び內國通運の取引店滿鐵指定鴨綠江解氷船舶其販賣運送の外各種の營業に從事し手を

▲八方に擴げてゐるのである之れ所少なくない氏は一見温厚の士だが頭腦明晰にして事業上の活動目覺しく新實業界に名を高めてゐる其他取締役は佐藤小九郎阿部國造の兩氏監査役は表谷氏以下事務員一同小務に於ては表谷氏以下事務員一同同社は今京城日報社火災復舊工事の材料運送に取り掛るさうだ因に第十八期の決算報告は左の通りである（新義州）

貸借對照表

貸方負債の部	
株金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
法定積立金	二三、〇〇〇、〇〇〇
特別積立金	一二、〇〇〇、〇〇〇
船舶償却準備金	一二、三〇〇、〇〇〇
預り金	七二、七〇〇、〇〇〇
未拂配當金	四五、六〇〇、〇〇〇
保證金	二、三四〇、〇〇〇
前期繰越金	一、一〇四、〇〇〇
當期利益金	[illegible]
計	七四〇、[illegible]

借方資產の部	
未拂込株金	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
保證金	九〇、四〇〇、〇〇〇
銀行預金	一五九、二四〇、〇〇〇
土地家屋	三八、八九四、〇〇〇
船舶	三五八、八〇八、〇〇〇
什器	五六、一〇〇、〇〇〇
受取手形	一〇、九〇〇、〇〇〇
板囲	二八七、五二〇、〇〇〇
立替金	一五一、二五五、〇〇〇
貯蔵品	一五一、一五〇、〇〇〇
部分勘定	三九四、〇〇〇
未收入金	一九八、二三〇、〇〇〇
現金	四三六、〇〇〇
計	七四〇、[illegible]

損益勘定

損金	八七九五三四、〇〇〇
益金	二六二六六八、〇〇〇
引益	二五二六六六、〇〇〇
前期繰越金	一一四七〇六
當期益金	三六七八六二

內譯	
法定積立金	二〇〇〇〇
株主配當金	二〇〇〇〇〇
役員賞與金	二二〇〇〇〇
退隱役員慰勞金	二五〇〇〇〇
後期繰越金	一〇五三七二
計	三六七五七二

◉鴨綠江氷貯藏

新義州正木商店の計畫

新義州實業家正木正治郎氏は同地民間屈指の人物である昨年新義州木材會社の創立に際し氏は委員となり大に努力したが今は關係を絶つてゐる氏は本年稲作の收穫の爲め氷が朝鮮內地に乏しく今更は將來水產食用等に必要なるべき見込みを立てゝ相當の資金を投じ自己の裏手の空地に約二千坪の大倉庫を設け貯氷した

▲鴨江氷約五千噸を採取し貯藏したが本年の漁期に向ふに從ひ需要に應じ內地の販賣期間は京城に對する輸送の關係上安東縣に比すれば一噸一圓丈け安價になると云ふ原價は一噸十錢內外であるらしく毎に

▲多量の氷を各地に輸送した 氏は從來本氏は鴨江氷の販路に努めて來たが倉庫業を營んでゐる關係上…業界に活動する（新義州）

演藝案內

大正館 本町 電話八七三

三月十八日より 泰西大悲劇 [illegible]

壽座 本町 電話五七八 新流自然劇團三館一行

浪花館 電話一〇五〇 浪花小岡治北海入道一行合同浪花節

黃金館 電話二六二七

[illegible]

子ル セル 洋个 帶側 半衿 シヨール 並に
みきりの品 帶側 半衿 賣出
三月二十日より五日間
三越吳服店 京城本町

のむがまにく 肥つて强壯 神經と腦を健全にし 記憶力を增す
最有效强壯藥 次亞燐

●賣捌は各藥店に 大瓶 中瓶 小瓶の三種あり

桑苗 魯桑接木及實生販賣 持合苗木根廻り一寸以上、同八分、同七分以上
右現品大田に有之候間直ちに發送出來候
蠶具一式卸 東洋蠶業合資會社 出張所 京釜線大田驛（電話百〇七番）

□カタログ差上げます□

京城本町二丁目 篠崎運動具店
□運動具は京城シノサキへ□

祝三千號記念
全羅北道金堤
石川縣農業株式會社 金堤支店 支配人 北尾榮太郎

汽車 [illegible]

越後大評定

第百六十四席 早川貞水口演

大野次郎兵衛の悔悟

豊『扨て玄碩は毒薬を調合いたしたか 次『ハイ然うしますと玄碩の申しますには、醫は仁術にして命を助けるのが業で御坐いますが、人命を絶ちます爲めの毒薬の調合は、法に缺けて居りますから、平に御免を蒙りますと頻りに詫入りましたが、若し調合いたさぬければ、其方を立ち所に手討にいたし、妻子をも斬り捨てる、それとも毒薬調合いたせば莫大もなく褒美を遣はし、大願成就の其時は、表醫者に採立てると云はれたので、元と元と小栗譜代の抱へ醫者で御坐いますから、玄碩も到頭主命默止し難く、毒薬調合致しまして御坐います』之を聞くと美作耐り兼ね君と君を忘れて進み出で 美『恐れながら御掛りまで申し上げます果して次郎兵衛は私を遺恨に思ひ、萬更跡形もなき事を申し上げます、重々不屆 豊『黙れツ、用のある時は汝の名前を呼ぶ、吟味中横合より口を出すは、上を輕ずるの仕打、不埒至極な奴、控へ居ろ、して次郎兵衛それから如何いたした 次『ヘエ、どうも小栗が餘計な口を出すので申し上げ惡くて困ります、希うか是からは傍から口を出さないやうに願ひます 豊『如何にも道理である、最早大丈夫邪魔は爲せぬに依り、緩寛申し立てえ 次『ヘエ有り難う御坐います

其から玄碩が調合いたしました其毒薬を殿様へ用ゐた次第は、恰度三月十五日の事で御坐います、高田の本丸と三の丸の間に櫻ケ池と櫻ケ馬場と申します所が御坐います、其櫻が咲いて景氣の好い所で、御主人下野守綱賢様が弓の稽古を遊ばすのを、側で小栗が拜見いたし居ると、下野守様が御病氣で御坐います、全體殿様は御癇症で、夜分ろく／＼臥せられませぬ所から、濱田玄碩と云ふ醫者の丸薬を、始終御服薬で御側をお離されたことが御坐いませぬ、此川の御小姓の西尾庄作が御印籠の御藥を預つて居ると、之を欺して、玄碩に調合させた毒藥を掏り換へ置きましたを、平時の御藥と心得差上げたから、殿様は忽ち御倒れになりました、其から上の御内意と僞り己の一子大六を養子にしやうと致しました、尤も越後守様の御妹様が、小栗の妻女で、其間に出來た大六で御坐いますから、上の御血統には相違御坐いませぬが、其人よりもつと近い御親類を差措いて、自分の伜を直さうといたしましたから、愈御養子評定となると、其席で關根彌次郎と云ふ者が小栗の惡事を申し立てた所から、評定は其まゝ立消えとなりました、すると其夜小栗の家來成瀬作十郎が、關根の歸る途中を待ち受け、一發の下に擊殺さうといたしましたが、忠臣には彈丸は中らぬものか、反對に關根は作十郎を斬つて捨て、其足で月見ケ岡の小栗の屋敷へ乘込み、惡事加擔の奴輩を切捲りましたが、其様な此様なの爲めに、三河守綱國様が御養子になりましたが、すると此三河守様をば、小栗の計らひで吉原通ひの不行跡に仕立、到頭染井の御屋敷へ押籠め、自分の伜を御養子に据ゑ、邪魔になる忠臣の荻田主馬永見大内藏様達を、上に賄賂を遣て惡臣に陷れ、毛利家へ永の御預けとし今では大殿越後守様は有て無が如く、正しく主家を横領いたしたに相違ごさいませぬ、私は一旦は色慾の二道に目が眩み惡人に加擔いたしましたが、今日は深く後悔仕りまして、何卒この身を擲つても、小栗の惡事を申上げ、御主人の仇を討ち度いと存じます』とハラ／＼涙を流し眞に遷善悔悟して逐一申し立てました。

產科婦人科醫學士 二宮醫院 二宮亮吉 京城壽町四一 電話二三〇一番

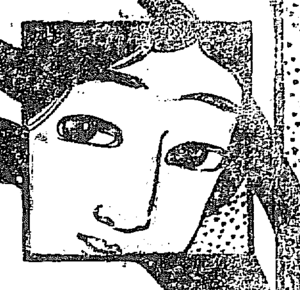
お聞きなさい

▲流行する女狂人● 和歌山縣那賀郡粉河町大字上野反の田中きく（廿七）といふ女が昨秋の御大典當時に發狂して同地の七山病院へ入院したそれを近所の松原徳助の妻はる（四十）が見舞に行つた見舞に行つて歸つて來たかと思ふとはるも亦發狂して躍つたり笑つたりする、さうするとそれを見た近所の淺井熊吉の妻たけの（四三）も亦氣が變になつた、それからつい隣家の某女も亦精神に異狀を呈した、町の人々はこの有様に肝を冷して居るさうだ

▲風變りの情死● 岩手縣二戸郡斗米村玉川たみ（三三）は夫に虐待されそれが辛さに實家へ歸つて縊死を遂げたするとこの女の幼友達で目下青森縣下北郡川内村に住む月舘孫兵衛（三三）といふ男が十二日の夜墓場からたみの屍體を掘出し自分の體とシッカリ括り合せた上村田銃で咽喉を打ち貫いて風變りの情死を遂ぐ

三月廿一日九星 舊二月十八日丁巳 本命六白乾滿先負

▲六白● 手ぬかりを生じ安き日注意 新事見合南方は吉 晴朗乾 天氣よき日轉居旅行入門 ▲七赤● 名弘家作求職婚禮大なる金融を計る等皆吉 ▲八白● 息込よき日轉居 行商 出漁求 職輿請 緣組 土工 請負 發靜等皆吉 ▲九紫● 自然に浮る事有日 新事手控萬事は吉 衛生に注意せらるべし ▲一白● 優美の日ふと善を施て大いに徳を得る事有萬道で有利 待人來る ▲二黒● 名利兩立の日 轉居旅行入學名弘求職 金件探 婚禮 種苗を求る等皆吉 ▲三碧● 自然氣味の事有日 新事手控萬事は當 丁寧にせらるべし ▲四緑● 約子 定規の事有日 新事手控萬事 開業は好なし ▲五黄● 安全なる日 轉居開業入學名弘求職出漁婚禮金談旅山葬等皆吉



婦人良薬

中将湯

薬の賣行は効驗と信用とに比例す

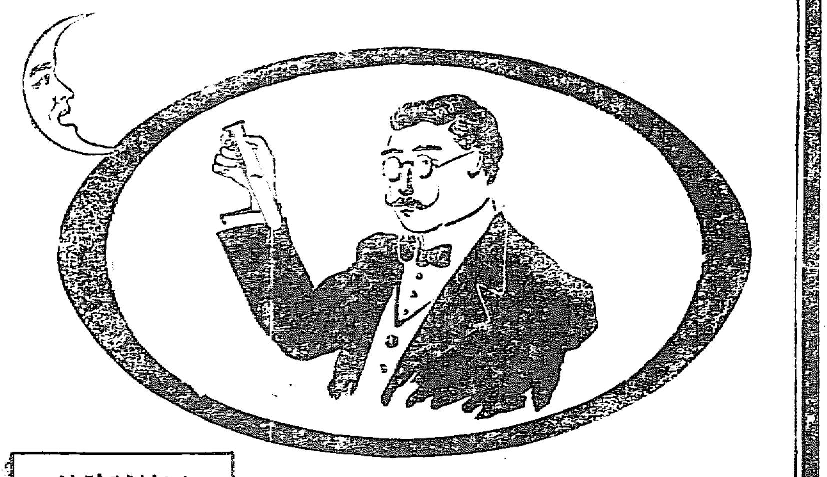
中将湯の賣行が驚く程多いのは何より効驗が確實で御婦人方の信用が厚いからです

主治効能
●子宮病 ●血の道
●婦人神經 ●氣ふさぎ
●逆上頭痛 ●癇高ぶり
●夜眠れず ●内膜炎
●膣加答兒 ●こしけ
●下腹痛み ●足腰冷込
●産前産後 ●つはり
●難産流産 ●月經痛み
●月經滯り ●血ぶとり

定價
二日分 二十錢
四日分 卅五錢
一週分 六十錢
三週分 一圓五十錢
五週分 二圓六十錢

▼加減薬あり容態詳しく申込みあれ 定價 一週分 七十五錢 四週分 二圓五十錢
▼中将湯は世界到處の藥店に販賣す ▼市中は配達無料

東京市日本橋通四丁目 津村順天堂本店 電話本局六六二番 振替口座六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話南二十五番 振替口座四五六番



物價騰貴と品質の善惡は十二分の注意が肝要ですから兎に角嚴密にお試し下さい。

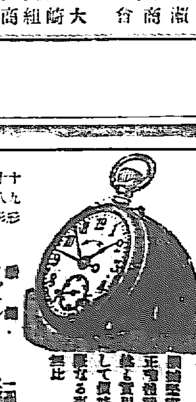
品質本位 花王石鹸に

限つて如何なる時でも品質に於て純良無上を期して居るのですから相變らず帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院等の御用を承るは勿論皆様が何時御使用になつても

皮膚の化粧衛生には最も御安心です

石鹸試驗法
石鹸を少し削つて試驗管に入れ之にアルコールを注ぎ好く振り混ぜて火に炙れば純良の石鹸は透明となる。若し混合物があれば沈澱し遊離脂肪があれば濁りが見ゆる。又遊離アルカリを含むものは此の液にフエノールフタレイン一滴を落せば赤色に變ずる。

花王石鹸製造元 花王香水關東代理店 東京馬喰町 長瀬商會
花王石鹸關西代理店 大阪安土町 大崎組商會

大邱村上町（元東洋館跡） 輕便御宿 商事下宿 御中食所 備後屋
●新荷著アンクル式片側鎖中時計●

[illegible]

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國寶直輸入商 イングレッシー商會 京城本町二丁目電話九七二番
[illegible]

醇良清酒 和か松 若松商會酒造場 同 精米部 大邱東門町 電話二二一番 振替一〇三七番

亡父一周忌 葬式の際は遠路の處御會葬被成下難有奉存候混雜中御尊名伺ひ洩れ有之哉も難計候間此段以紙上御厚禮申上候
三月十九日 京城若草町一三二
長女 廣田フヂ
親戚總代 香月爲忠
友人總代 三宅勝三郎

父賢吾儀永々病氣の處養生不相叶本日午前一時遂に死去致候間此段辱知諸君に謹告仕候
追而明廿日午後四時途中葬列を廢し若草町曹洞宗大本山別院に於て葬儀執行仕候
三月十九日
男 大日方輝長
男 大日方俊男
男 大日方昌浩

旭町二丁目（京城府廳横） 電一五六七番 株式會社 京城葬儀社 二川町 中河原重吉 歷柩馬車の設備有之候 井上芳太郎 電話九五七番

京城日報
二十日朝刊（夕刊と合せて八頁）
定價　本紙一部金五錢　一ヶ月金五十錢
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　坐口政太郎

蘇峯雜話　中島生記

六、獨逸の歷史家

獨逸の今日あるは、獨逸の歷史家の力與つて多大である。其の功を論ずる者も、之を歷史家に歸し。其の罪を論ずる者も、亦た之を歷史家に歸して居る。先づ獨逸で、歷史家と謂へば、指を、ニーブルに、屈するであらう。彼は羅馬史に於て、確かに新生面を開いたのである。英國の、トーマス、アーノルドの如きも、彼の風を聞いて、起つたのである。ニーブルは、羅馬の上古史を研究するにつき、其の史料の乏しきにも關らず。一本の小指によつて、一足の破れ靴によつて、宛かも巧妙なる彫刻者が、全身を彫刻する如く、彼は慧眼にも、語原の上に、羅馬民族の、生活及び思想を覓め、之によつて、上古の羅馬史は、彼れの卓拔なる研究によつて、殆ど無中有を生じた。[illegible]ながら富んで居たけれども、殊に其の識見に至つては、獨逸歷史家の、第一人ともいふべきであらう。彼に次で起つたものは、ランケである。彼の研究の方面は、頗る多方面に亙つた。或は羅馬法王の歷史となり、或は英國革命の歷史となり、而して其の史料の採收の汎くして、且つ判斷の公平なるに至つては、何人も敬服せぬを得ぬのである。彼は、孰れかと云へば、先づ學に於て優つたものと云ふべきであらう。但だ、ランケの文章は、平明なれども。ニーブルに至ては、一度ペンを執れば、恰かも人を荊棘の中に導くが如く、何が何やらさつぱり解らぬのである。好漢惜むべし、文章の才に於て、殆ど缺乏し、所謂史眼ありて、史筆なしと評せざるを得ぬのである。此間に、一人の大史籍を有する者が出た。それはモムゼンである。彼は羅馬史の研究に於て、殆んど、集大成したるものに近かつた。彼は羅馬史を研究するについて、古代地理、古代法典、或は文藝、或は美術、或は言語、或は宗教、有らゆる方面に手を伸ばし、一片の斷碑、殘缺の文書も、等閑にせず、之を蒐集し、遂に長江大河の一瀉千里し……るが如き、世界の偉觀たる、……著述したのである。彼れの……は、孔子が春秋を作つて、筆に絕つた如く、ジユリウス、シーザーに絕つたのである。彼の英雄は、シーザーであつて、彼は恰かも、シーザーを謳讚せんが爲めに、羅馬史を作つた傾がある。彼の眼には、シセロの如きは、多雜輕薄なる文士たるに過ぎず。天下の英雄は唯だシーザーであつた。シーザーの爲す事は、宏大無邊なる、超人的心意より湧き來りたるものとして、悉く之を是認し、正認せざるはなかつた。之れが彼の短所であり、歷史の缺點であつたが、其の缺點が、即ち彼の歷史をして、凜々生色あらしめたる所以であつた。彼は寧ろ學才とによつて、勝れるものと謂ふべきであらう。

其他シーベルの如きも、其の佛國革命を敍し、或は獨逸の興國を語るに於て、周到ならざるにあらざりしも、彼は寧ろ重きを、制度文物の變遷に從き、人物の如きは、却て之を閑却したる傾向があつた。即ち彼が崇拜したるビスマークに關する記事さへも、無色無味にして、讀み來り來て、ビスマークの乾物でも、見る如き感じがある。謂はゞ、彼は、學と識とに於て、缺點少きも、才に於て、未だ足らざるところが、あつたであらう。最後に出で來たのが、即ちツライチユケである。彼は英國のマコーレーと言はれて居るが、余はマコーレーのは、原文で讀み、ツライチユケのは、獨逸文を英語に譯したるものを讀み、聊か之が爲めに、一膜を隔つるの感があつたが爲めに、正當なる比較研究は出來ぬが。假りに、譯文によつて、之をマコーレーと對照すれば、或は未だ英國の大文家たる、マコーレーに及ばぬかも知れぬと思ふ。然し乍ら、彼は、事を描くにも、人を描くにも、殆んど傳神の筆を有し、獨逸の歷史も、彼によつて、始めて活きた歷史が、讀まるゝ心地がする。彼は本來、歷史家となるよりも、寧ろ歷史を作るべく、武人たらんと志したが、不幸にも、少年の時に、疾に罹り、全聾となつたのである。乃で、已むを得ず、學問に志し、遂に歷史及び政治の教授として、身を立てたのである。

彼が獨逸の歷史は、寧ろ彼にとりては、晩年の著述であつて、彼はナポレオン戰爭以來、其の現代までを、書く心算であつたが、漸く六冊に及び、僅かに一八四八年の歐洲革命時代に及んで、遂に志を果さずに逝いた。彼は死に至るまで、吾が歷史を如何せんと言ふて死んだが、然かも、其の未完書として、今日に存するものを見ても、如何に惜しき歷史が、彼と共に地中に葬られたることが、想像せらるゝ。恰かも、マコーレーが、英國のゼームス二世より、筆を起し、彼の生存したる時代に至らんと志して、纔かに、ウイリアム、メーリーの時代に至り、遂に逝きたるが如きものである。ツライチユケは、ビスマークの許を得て、普魯西の官庫に在る公文書を、隈なく渉獵したのである。彼は、學に於て、未だ間然なしとは、謂はれぬが、決して杜撰の歷史家ではなかつた。然かし、彼は、豫め胸中に、一個の成見あつて、之を證明せんが爲めに、歷史を作つたものであるかの如く思はるゝ。即ち普魯西中心主義である。されば、彼の識見は、輙もすれば、愛憎のために、其の眞相を謬まり。彼の判斷は、好惡のために、其の公平を過まつの處があつた。極言すれば、彼の歷史は、寧ろ黨派的の宣言書とも、謂ふべきであらう。されど、彼の史筆に至つては、如何に彼を好まぬ者と雖も、驚嘆するを禁じ得ぬのである。彼によつて、死せる者も蘇り、彼によつて、過去も現在となつたのである。彼は新聞に關係し、常に時事と接觸して居つた。彼は議員となつて、國民自由黨の一員であつた。マコーレーは、本來自由黨の名士であつて、政治が本職であつて、文學は寧ろ兼業であつた。彼れは、大學教授が本職であつて、政治は寧ろ兼業であつた。然し、兩者倶に、實際の世間に接觸したことは、同一である。而して、ツライチユケも、金持ちではなかつたが、淡白なる生活をなすには、左ほど差支なかつたのである。彼は三長の中には、寧ろ識を缺いだと、謂ふべきであらう。然し、之を償ふには、彼の才は餘りあつた。彼は、二要件を備へて居つた。彼の歷史は、實に獨逸人民の、國家的福音書である。而して彼の歷史は、彼の記念碑である。

（正誤）蘇峯雜話十九日の分、即ち「史家及其著作」の項中、二段三十四行目の「盤々たる天下の文字」の「天下」は典雅の誤記につき、玆に訂正す。

北鮮の山水 (14)

東拓理事　村田俊彥

六、金（其五）　我國の正貨問題

年餘前までは我邦の金問題は解決せられざりき。正貨準備問題なるものは何人も之を解決する能はざりき。歷代の內閣も之に對し明快なる斷案を下せしものあらず。政治家も實業家も皆依々として過ごし來れり。之が結果として極端なる財政縮少論も出でたる位なり。外國品購買防遏の議論も出でたる位なり。曾て佛蘭西の銀行家人を我邦に派して我邦の經濟財政狀態を調査せしむるや、其人歸りて日本に於ける總ての狀況は審査し解し得たるも、正貨準備に關する事は之を詳にする能はざりきと報告せりと聞けり。我國人自ら之を詳にする能はず、宜なり、外人の評する能はざりしや。假令正貨準備に對する、明確なる國の方針立たざりしとするも、即ち正貨を獲得する方法に就ては、攻究中なりしと雖も、金貨制度を維持するてふことに就ては我國人毫も之を危ぶまず、孰れの方法にか依りて之を維持せんことを信ぜり。而かも外人中には、尙其維持する困難なるに至らんやと、疑を抱きしものありき。即ち明治三十六年に外國の五千萬圓の英貨公債が發行せらるゝや、外人は日本の國債の裏書付整理公債が、金貨本位なる金圓なることを文中に加ふべきことを主張せり。我金貨本位なることは貨幣法によりて明かなり。然るに猶彼之を主張す。是れ彼の意、我國の金の基礎鞏固ならず、金足らずして他の本位に變ずるに至るあらんことをおもひ、金本位の維持を危みしに因らずんばあらず。此の如く正貨準備に關する問題は、歐洲擾亂までは存在せし事實なり。今や偶然の成金によりて、此問題は消滅したるが如しと雖も、何時再び此の問題を現出するなきを保せず。咽元過ぎて熱さを忘るゝなく、遠く慮るところ無からざるべけんや。

外侮を防げ

我國に正貨少なきとは、獨り國債の引受者をして危ましめしのみならず、更に外人の侮を買はしめたることあり。余七八年前米國雜誌に於て日米戰爭想像記なるものを讀む。其小說に依れば、我軍は始め布哇を侵し、乃で直ちにカリホルニアを攻め、其海岸の地を占領し、米軍當るべからざるものあり、加之我軍はパナマ運河を毀ちこ米國艦隊の大西洋より太平洋に進らんとするものをも防止せしむ、然し結局にして我國資盡き、遂に米國に降伏するの已む無きに至りたりと云ふ筋書なりき。彼米國雜誌の小說は、固より以て外人の我に對する侮を示すものゝ一端のみ、而して其說くもの我兵強うして我資金少きは遺憾ながら眞實なり。今回の流入金に比する無く更に鞏固の資金を造り、以て內民福を益すと共に外侮を防ぐのみならず、畏敬措く無きに至らしめざれば止むなき底の覺悟無からずして可ならんや。金の必要なると共に此の如し。金を採掘するは貿易により金を吸收するに努して貿易なる產業を興し、以て金の吸收を圖ると共に、又地下に隱れたる此富の採掘にも、最善の力を用ゐざるべからざるなり。

大阪だより

△騰貴又騰貴　戰時の影響を被りたる諸材料の騰貴は言はずもがな、其他の諸物價も漸次に昂騰し何等の影響なき者すら亦騰貴せんと競はんとするもの、如し。騰貴せる者の中には他の騰貴の聲に乘じて私利を圖らんとするもの若くは人爲的に殊更釣上げたるもあらんされど物價一部の騰貴と並に戰爭景氣による勞銀の昂騰は豈に一般に生產費を增し物價の騰貴を餘儀なくするの結果ならん斯くて高き物は買れず買はざれば不景氣となる此際の推移深く注意を要すべし

△外船買賣怪聞　英國假裝巡洋艦が北サッドル近海を根據として我が商船に對し不法行爲を續けつゝある事由は今回の外務省發表の對英交涉顚末に依りて略ぼ察知し得べきに昨今大阪方面に於て某方面（上海?）繋留中の外國商船十餘隻の權利賣買の仲介をなさんと商談中の者あり現下獨墺、諸威を除きて何れも船舶の賣買を禁止し居れるにも拘らず斯く多數の船舶賣買の而も價格安値なるに何れも其の出所を怪しみ居たるが今回の對英交涉顚末に依り想到せば何等かの奸商手段ならんかと關西船主側は今更に懸懼し居れり

△船舶急造懸賞　船腹の不足と運賃の激騰に伴ひ造船界は著しく活躍し新建造の船舶價格は昇騰を極度に達し戰前一噸三十圓見當なりし木船建造は目下百二十圓に達し然かも各造船所は注文の殺到に依り其大部分は拒絕せる狀態にて鐵船に至つては戰前七八十圓見當なりしが目下二百七八十圓に昂騰し鐵船の如きは材料不足を以て各造船所は何れも竣工期限を延引するより注文主は或は懸賞をなして其の建造を促進せしめ又は價格引上げ等にて其の工程を急速せしめ居る有樣にて種々の手段を忘らざるものゝ如し

△兩社南洋航路　臺灣總督府の計畫に係る南洋航路の新命令航路は大阪商船をして受命會社たらしめ一個年十萬圓の補助金を交付し四月一日より實施する事に決定し會社は新高丸撫順丸の兩船を就航する筈なるも其航路は一箇月十二回とし基隆を起點とし スマトラ、シンガポール等に寄航し成べく南洋郵船との競爭線たるべき航路を採らざる方針なるのみならず新航路は專ら臺灣に於ける砂糖、米穀等の諸產物を南洋に輸出し直接內地南洋間の通商貿易に從事し南洋郵船に對しては左程の影響を與ふるに至らざるべしと商船側の當事者は語れり

△大阪商船擴張　大阪商船會社は目下大阪鐵工所に對し註文せる新造船大型貨物汽船六隻は明年度上半期より順次明後年に渡りて竣工の筈なるが同社にては前年來準備を進め來れる歐洲定期航路を大竣工期に入ると共に開始する方針の由尙歐洲航路及び南米航路の兩定期線を開始すると共に北米航路の寄港に對し多少改變を加ふると共に同航路の定期船數を增加せんとする計畫あり既に是等の具體案は同社理事者の手に略ぼ作成濟となり該計畫の實行に當然必要なる新造船の建造は右濠州航路南米航路に各八千噸級貨物船四隻宛合計十二隻を大阪鐵工所に註文すべき內容の交涉既に熟し居る由（十六日大阪支局發）

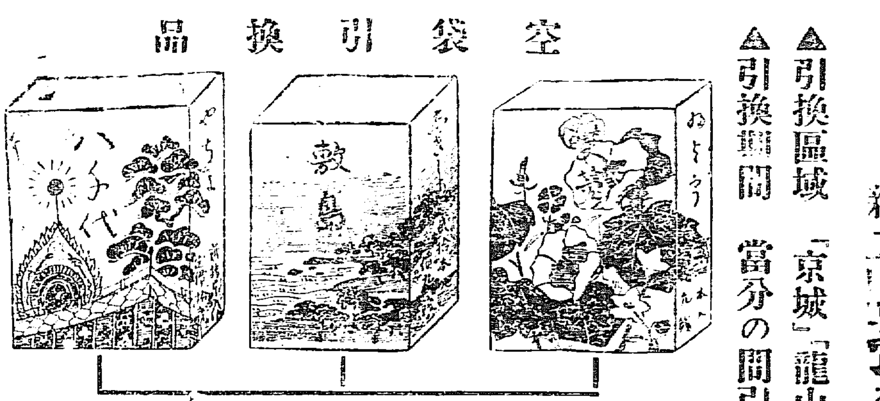
日報俳壇　梶子郎選

■水原吟行（二）

樓上に鐘樓あり
長閑さを撞かざる鐘の月日哉　橙黃子
華虹門
水門に見透く山ある霞かな　橙黃子
春淺く畫樓を映す水乏し　同
春水や岩間を占めて洗濯女　同
訪花隨柳亭
蟹石を蝕す流れや水温む　韭城
春風やいつか褪め行く樓の色　橙黃子
樓臺に四山の媚や春風裡　同
果川
陽炎や河底ながら左右の果圃　橙黃子
長安門　城壁に沿うて行く
門壁に凭りて小店の日永かな　橙黃子
蒼龍門
春雁や墩臺保つ松の中　橙黃子
引鶴や城の巽に鷄尾の樓　韭城

▼滿鮮に曾て例なき最も「嶄新奇拔なる空袋引換」
▲引換區域　「京城」「龍山」「仁川」三市內に限る
▲引換期間　當分の間引換致します

空袋引換品



■上記何れの空袋二十枚御持參の方には抽籤番號を貼付したる敷島一包を差上舛
■之れが一千包に達する每に抽籤の上左記の景品を御渡致します
■但し引換空袋には朝鮮の封緘紙貼用のものに限ります

景品種目

一等	錦帶	一本	一〃
二等	小形化粧道具	一個	二本
三等	置時計	一個	十本
四等	ニッケルマッチ入	一個	十五本
五等	マッチ	一包	九三七本

▲引換場所　京城明治町　東亞煙草販賣所
御注意　抽籤は豫定抽籤券一千枚に達する每に豫め新聞に廣告して發表致しますから精々御持參御引換の上景品御受取を願ひます

大正五年三月
京城　東亞煙草株式會社

▼三代表煙愛用家の特權「幸運者は何方でしうか」

……に係る六〇六號を初めアンチピリン……會社で製作して居るが此方は未だ我……目下其事務所も三共會社內に出來て……

▲アンチピリンは……現在我國で需用の……一年間……りである然し政府の補助は十年間が限りで資金の八分を補助するといふ

●釜山穀物市場
▲正米（十錢高）……時……は合入品にして……買入の呼び値に引付けられたる商狀

○支那形勢險惡

龍濟光命を拒む＝南軍意氣俄に昂る＝各將軍去就＝形勢變化の時期

廣西省の獨立が雲南軍と聯絡あるは勿論なるが一方廣東省とも亦脈絡を通ずるもの丶如く北京政府は廣東將軍龍濟光に對して廣西討伐を命令したるも龍は廣東の平和維持を口實として體好く其命令を斷りたる由なれば其の間の消息を揣摩するに足らん斯くて廣西省の獨立は雲南軍に多大の聲援たり到便ある事言を俟たず兵力に於て武器に於て軍資に於て缺乏を感じつゝありし雲南軍は之に依りて補充を得るに至るべく又地理的關係よりいふも廣東省の南部より直ちに海に達するを得べく總てに於て雲南軍の氣勢を強め得るに反し袁政府に取りては非常なる打擊にして勢ひ討伐軍を分割せざるを得ざるの窮狀にあり又今日迄形勢觀望中の各省將軍も漸次其の去就を決するに至るべく愈々支那の形勢に重大なる變化を來すの時期に入れり（北京特電）

○臨檢事件と英の反省

ローゼンチックを撤退日本の海軍に信賴＝印度人拉致問題未決

英艦ローゼンチック號が天洋丸其他の日本商船に對して停船臨檢を行ひたる事は本邦輿論の沸騰を惹起し此儘に捨て置かば日英兩國の感情を阻害するの虞れあるを以て日英兩國政府は爾來引き續き交涉を重ねつゝあるが英國政府は日獨海戰以來太平洋上の警備に關しては日本の海軍の力に依賴する事多かりし事實と東洋の政局に對しても日本の意志を尊重する事の最善の政策なる事と思ひ問題のローゼンチックを支那沿海より引上げ此の方面の海上警備は主として日本海軍に信賴する從來の政策を變更せざる事に決定したりされども天洋丸より九名の印度人を拉致したる事件は當面の問題となさず未だ滿足なる解決を見ざるより此の事件は今後注目に値すべし（東京特電）

○形勢總て佛軍に有利

巴里市民のヴエルダン戰觀測

巴里にてはヴエルダン戰が終末に近づけりとの說行はれ居れり敵は從來よりも更に激烈なる砲兵の攻擊を行へども形勢は總て佛軍に有利なり敵軍は奚に奪還したるイゴモーソムに足據を作り得ず又敵軍砲兵の實力は戰鬪開始當時よりも劣等のものとなりし事明白と爲れり軍事通はドーモンとヴオーに對し更に大規模の攻擊を加ふべしと觀測せり（巴里電報）

○露の新地占領と鹵獲

エルゼルムの西方六十哩の地點に於ける戰鬪後露軍はマ、バツムを占領し大砲五門機關砲數門軍需品列車を鹵獲し將校四十四名兵七百七十名を捕虜とせり（露都電報）

○土國陸相後任

土耳古陸相の後任にはイスマル、ハツキ氏に決定したり（巴里電報）

○佛國陸相辭任

佛國陸相ガリエニ氏辭任しロケー將軍其の後を繼げるが辭任の原因は病氣なり（巴里電報）

○慶北金融狀況

▲大邱 [illegible]文ある爲め[illegible]好氣配を示したり玄米は[illegible]入[illegible]月末に至りて極めて沈靜にして[illegible]のみ其他諸雜貨の出廻少く商況[illegible]越月せり一般金融[illegible]追[illegible]金利從て強氣配を示せり[illegible]曆越年後に於ては一般貨金業者の[illegible]地買入及び土地改良等主なるものな[illegible]目下農閑時期に相當し少額農貨金[illegible]金融組合は業務頗る[illegible]貨弁騰の影響を蒙り米穀小口取引は[illegible]漸次高價を唱へ中旬に於ては相當取[illegible]的高價を唱へ[illegible]投資する向漸次增加し[illegible]過一般金融は漸次緩漫に趣きたる[illegible]月已降急遽變動を示し[illegible]

○滿洲 鞍山站鐵鑛

滿洲の鑛山業は容易ならず鐵材不足にして鐵工業の振起を要する今日山東の金嶺鎭鐵鑛と共に滿洲の鞍山站鐵鑛も愈々その開掘に著手し滿洲に製鐵事業の開始を見るに至るべしとは昨年來

▲屢々世上に傳へらるゝ所なるが元來鞍山站附近の鑛區は頗る廣潤にして其の鐵鑛が果して有望なるや否やを確かむるには更に充分の研究を要し試掘にも亦精細なる調査を要する點あり勞な滿鐵會社が今にも之が採鐵事業に著手するが如く傳ふるは速斷の甚だしきものにて其の經營著手を見る迄には猶幾多の迂餘曲折を要すべしと滿鐵某當事者は語れり滿洲には

▲此外猶ほ見込みある鐵鑛少からざるも日支條約に依りて獲らる指定鑛山以外の開掘は今日の所容易に行ひ難し支那官憲が例の利權外逸の名の下に之が防止に汲々たるを以て指定鑛山と雖も其の開掘をなすには更に別途の交涉を要すべく其他の鑛山に至りては支那人自ら技術者を雇ひ來りて盛んに試掘をなし日本人をして之れに手を觸れざらしめんとし

▲支那官憲の態度 また北滿洲に於ける躊躇たるものあれば滿洲に於ける日本人の鑛山事業は之を經營せんとするも事實容易の業にあらず支那の名義を用ふるか若くは一種の合併事業とさせば比較的早く開掘權を得べきも夫すら現狀の下においては困難なるものあり此邊の事情は日本人の深く考ふべき所にして輕忽事に臨まば失敗を免れざるべし（大連）

○金海水利進捗（上）

[illegible]地に於ける[illegible]殿狀の改良發達に伴ひ近時大規模の水利事業[illegible]地に於ては日本人農家の經營上に與ふる直接間接の効果甚大なるものあり[illegible]金海水利組合について報道せん

▲組合の創立 金海水利組合は慶尚南道金海郡右部面、左部面及び活川面の各一部を包容し、東は洛東江本流に沿ひ、南西は支川を以て迴らし、北は丘陵山脈部に接續す、其耕地面積二千二百町歩中二千百七十町歩を以て蒙利面積となし同組合の關係區域と定めたり、組合區域の地は從來洛東江本流に接する部分に於ては堤防の設備ありしも其南方は數千町歩の盛田にして一朝風波あれば海水忽ち之を越して田面を浸すのみならず、城內の河川亦悉く荒廢して旱水の慘害絶ゆる時なきより、日本人大地主側に於ては根本的水利事業の必要を認め、明治四十年組合を創立して工事に付て種々計畫する所ありしが偶々鮮人地主の一部と意志の疏通を缺き其反對に遇うて事業の蹉跌を見たり然るに明治四十三年稀有の大降雨に遭遇するや同地は濁田面を浸し河水亦悉く氾濫して二千町歩の收穫は爲めに皆無に歸するの慘狀を呈せるより創立者は益勇氣と熱心を以て東西に奔走し或は內部を釐革し鮮人地主に對して意志の疏通に鑑し、大正二年遂に一部の反對者を除き工事計畫の一部を變更して

○保險會社と金融

朝鮮に於ける生命保險會社の募集に當つては何れの會社も共內地の本店に向つて送致せる結果一部識者の間にありては朝鮮金融界のため斃ふ可き現象なりとし一時二三保險會社に對し朝鮮に於て資金融通の一事業を選さんことを勸誘する所ありたるも遂に其實現を見ずして今日に至りたるが此程某保險會社は愈々京城に於て積立金七百餘萬圓の中約百萬圓を京城支店の資金として支店に事業部金融部の二課を置き事業部に於ては保險勸誘、金融部に於ては一定の擔保に對し低利資金の融通をなすべしと又一說には經營費の節減をなすため前記の百萬圓を一二の銀行に貸付け代理を托する方法を取るやも知れずと傳へられ居れり何れ一二箇月內に某社の社長自ら京城に出張し來り當局と打合せたる上何等かの形式を以て發表せらるべし

○人蔘播種移植

本年は冬期極めて溫暖なりしを以て人蔘業の如きも播種及び移植は例年に比し遙かに早かる可く豫想せられ開城特別耕作區域內にては新春匆々より諸般の下準備に努めつゝありしも餘寒殊の外嚴しかりしより何れも準備を中止し氣溫の模樣を窺ひ居たるが昨今にては大に順調に復せるより早くは本月末遲くとも四月匆々には採種と同時に移植に著手の運びを得べしと因に本年の播種面積は三萬間にして移植地積は約三十萬間なり

○北鮮水產製造

成鏡北道水產製造業視察のため出張中なりし菖蒲技師の歸來談に曰く北鮮一番有望なるは明太で次は鯖製造なり現在にては一箇年四十萬尾を漁獲し居るが遺憾なるは餌の烏賊の少なきことにて之れが補足を行はゞ將來支那向輸出品として需要無盡藏なる可く或は北海道產の鰊が九州邊に迄移入し來れる商圏を犯すことも容易なるべし又丹、鯖の燻製、若布の養殖、氷魚の粪干等日常食料品として製造さる可きもの尠からず清津、羅南、鏡城等の各需要地は勿論淸會線開通の曉は國境方面への取引も有望なるべし

○一月中獸疫數

一月中の獸疫數は牛、馬、驢、豚及び犬を通じ牛疫四十七頭、炭疽六十五頭、疑似炭疽四十三頭、氣腫疽四十七頭、疑似氣腫疽十三頭、疑似鼻疽一頭、流行性鵞口瘡一頭、豚虎列剌五十六頭、狂犬病八頭、疑似狂犬病三頭、合計二百八十四頭にして牛疫四十頭及び狂犬病四頭快癒の外は何れも斃死若くは撲殺せり

清會線（七）

浦鹽大連との競爭（上）

前來記述し來りたる所に依り、將來淸津港との競爭港たる浦鹽及び大連に於ける貿易狀況を觀察せざるべからず、即ち最近五箇年間に於ける大連港の一箇年平均增加額（外國出入貿易のみ）は輸入三百九十六萬七千二百八兩、輸出五百三十九萬五千二百二十六兩にして、此增加額を以て、將來に增するものとせば、今後十八箇年後に於ける同港の輸入額一億六千五十九萬三千二百五十圓（一香港兩一圓三十錢換算）輸出額一億九千二百六十四萬九千七百九十六圓に達す可く、又浦鹽港に於ける過去の年平均增加額は之が算出の根據を得るに由なきも、同港自由港撤廢の翌年即ち明治四十四年の同港通過輸出總額二千五百二十四萬二千四百留、同輸入額四百一萬三千百留にして、自由港撤廢のため滿洲方面に對する外國品の通過輸入減退せしに反し、通過輸出增進し之れを大豆のみに見るも

四十一年	二十九萬六千六百七十三石
四十二年	九十萬六千百五十八石
四十三年	百十一萬八千五十九石
四十四年	百八十萬三千百二石

の如く增進したる事實あれば、四十年後各年間の消長は免かれざるも北滿に於ける、經濟界の發展に伴ひ年々に浦鹽通過貿易の激增しつゝあるは明なり、今假りに同年より二十年後に於ける同貿易が三倍するものとせば、輸出七千七百九十九萬九千十六圓（一留平均一圓三錢として換算）輸入千二百四十萬四百七十九圓に達すべし、然り而して右大連浦鹽兩港に於ける輸出入の幾分を淸會鐵道を利用して淸津港に依り吞吐するの有利なるや否やを觀察するに、輸出品の首位たる大豆一噸の運賃は、長春大連間は八圓三十錢、大連大阪間一圓六錢なり、故に斯の如きは宜しく海運に依るを有利とし、場合に於ても、淸津を經由し輸出せらるゝ場合に於ても、淸津大阪間は日本海橫斷航路及び鐵道に依るよりも、現今の迂回航路に依るを有利とす、然るに長春大連間の距離は長春淸津間よりも約五十五哩遠く大連大阪間も淸津大阪間より十四哩遠きを以て、長春地方附近の產物は淸會鐵道經由に自から變すべきものと觀ざるを得ず、又浦鹽通過の日本及び歐洲輸出向貨物中淸津通過に移す可きは、淸上運送に於て二港とも得失同一と見らる可きに、長春浦鹽間より北の距離は長春淸會間より二百五十哩短距離なれば、哈爾賓以北の產物と雖も淸會鐵道を經て淸津港に依るを有利となさざる可らず

○寒天製品賣切

朝鮮に於ける寒天は目下大邱、長城、梁山、馬山の四箇所に於て製造し居り從來官營なりしも今回全部民營に移し總督府の水產課或は道廳等に於て極力獎勵せるため客年十一月より本年客月末迄の製造期間に於て約四萬斤を製出し得たり其製品も大に好評を得たるも昨年は順調なりしため成績頗る良好なりしと云ふ之に反して內地に於ける同製造業が本年不況なりしため內地よりの買手非常に多く最初は百斤八十圓以上の値にて取引せられしものも昨今百圓以上の四萬斤は全部賣買を了し既に長城產品の如きは露領へ直輸出を爲し好評を博し居れりと云ふ因に朝鮮に於ける寒天の生產量は百萬斤以上に達し居れど實際製造の原料に充られ居るものは十八萬斤內外なれば將來益々有望なりと

○川村將軍追悼

川村將軍追悼法要會は來る二十一日午後三時より東本願寺に於て執行當日は寺內總督立花警務總長井口軍司令官龍山三十五聯隊其の他將軍に縁故あるもの參列する由因に生前將軍に知遇を得たるものは當日參列さる可しとす

○京城の敎員移動數

昨年中に於ける京城學校組合管內の公立學校敎員の移動數は轉入二十一人轉出十九人にして此俸給額平均一人當前者は三十四圓五十錢後者は三十九圓五十七錢にして右は優良にして高級なる敎員が校長として地方に轉任したる者か又は內地へ歸還せるものにて轉入敎員の人員の割合に於て俸給額少なきは中學校卒業者にして僅に一箇年の敎育を受けたる所謂敎員養成所卒業生が年々府內に四五名宛任命さるゝ結果なりと

○兒玉總務局長歸任

既報の如く十六日東京を出發したる總務局長兒玉秀雄伯は夫人同伴十九日午後九時南大門驛著列車にて歸任せりこれより先き井上東拓理事は水原迄同社本社長等は烏山迄其の他のものは永登浦迄出迎へ停車場には閔李王職長官趙重應子其の他多數官民の出迎へ盛んなりき

○大藤副官歸任

久しく東京赤十字社病院に入院中なりし大藤總督副官は十九日午後九時南大門著列車にて歸任せり

○美以敎會堂新築

京城旭町なる美以敎會にては多年の宿題たりし會堂建築の議決定し愈來る四月頃より土工に著手し本年十月頃迄に竣工の豫定を以て工事に著手する由なるが會堂は約七千數百圓を投じたる平屋建の理想的なるものにして地下室は通風採光共に完全なる日曜學校の敎室に充つべしと

人事消息

▲水越理財局長（朝鮮銀行理事） 東上中の處十九日夜歸京
▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦商業會議所會頭） 十九日夕入京油尾旅館へ投宿
▲中村鐵四郎氏（京畿道土木技師） 同上
▲阿部安積氏（龍山郵便所長） 十九日朝入京同上
▲末永親太郎氏（門司製鋼所重役） 十九日朝入京ホテルへ
▲依田省輔氏（神戶製鋼所重役） 同上
▲河內銓氏（工學士） 同上

□北鮮より

▲牛皮と北鮮 北鮮地方に於ける牛皮は內地相場の騰貴に從ひ漸次騰貴し兩三月來出廻激增せるも增寒と共に短時日を以ての乾燥不可能となり最近に於ては生牛皮の儘市場に現れ當業者は之れを鹽漬となして俵裝し移出を試みたるも內地諸港の檢疫の關係上甚からざる不利を釀し一時鹽漬皮の移出は斷念され極力手持品の乾燥に力め既成乾燥品より順次移出をなしつゝあり而して一月中淸津に於ける出荷額は乾皮一萬五千七百卅二斤價額八千二百七十四圓にして內四百四十五斤の小皮を除き他は悉皆大皮なりとす市況は昨年末生皮の買込み多かりし丈け在荷潤澤なるが爲め之れが乾燥に專念しつゝある折柄なれば出廻品の買入れは氣乘薄の姿にて取引自ら緩漫たるを免れざる狀態なり

▲各地明太漁況 淸津近海は昨日來潮流の變化に依り海底溫度の上昇を來したると同時に海底魚族の漁獲漸く多きを加へたるに反し明太魚は次第に漁獲薄らぎたる模樣なり然るに本年始漁以來二月末までの漁獲高を見るに五十六萬二千尾にして昨年同期の漁獲高に對し約十萬尾の增加を示し居れり又鱈は依然豐漁續の釣魚も增加し其他鰈等も相當の漁獲を見つゝあり北靑は成鏡南道第一の明太魚漁地にして既に明太魚の漁期を終れる現今に於てすら尙相當の漁獲あり相場は一駄十五圓乃至十五圓五六十錢を唱へ稍強味を含めり本年は概して相場下落の關係上乾明太は目下七割以上の在荷なるが如し而して北靑地方本年の明太魚は例年に比すれば非常なる豐漁なりき端川郡各漁村に於て一月中漁獲せる總價額は二萬四千七百四十圓にして之を例年同期に比すれば稍成績良好なるが如し

巖谷小波先生監修
幼年畫報
四月號 定價改正 各十二錢 郵稅一錢
幼年世界
繪も噺も娯樂と敎訓の兩全を期し安心して愛子に與へらるゝ繪雜誌
面白く讀み易い繪入記事を滿載し尋常小學生に一番愛讀さるゝ雜誌
東京本町 博文館 振替二四〇番

種と苗
蔬菜、草花、山林用種子、果樹、山林、觀賞苗樹、球根花卉、和洋農具、各種肥料、驅除劑
春季說明附營業案內無代進呈
▲於非衽共進會殿蔬、蔬菜の種子、果樹、山林の苗木に亘り四個の名譽を受領せしは唯本園あるのみ以て各種苗の如何に精良なるかは夙に各農家の均しく是認する所
京釜線烏致院 電話國二七番 振替京城三七番 朝鮮興農園

卷莨 品質本位
君が代……定價五錢
三笠……定價三錢
敷島……定價二錢五厘
前之園商會 大邱電話長二四一番

祝三千號記念
全羅北道臨陂瑞穗面 川崎農場
場主 川崎藤太郎

新案 切抜帖
切抜通信社編
本帖は特に紙質の選擇に苦心の結果ペン或は鉛筆何にても使用上差支なし
本書は從來最新式スクラツプより取捨せし者にして開披の優美用法の至便なるは云ふ迄もなく新聞雜誌並に廣告摘書の貼附に妙を得せしめ新式の目次を加へ是に添ふるに題目の色指を以てしたる逸品にして書用する時は書籍より優美にして机上に備たり
定價五拾錢 四六倍判 郵稅八錢
發賣所 東京市京橋區南傳馬町一丁目 目黑分店 振替口座東京二三五七番

學級手帳 大正五・六年度用
大日本小學敎育研究會立案（最新刊）
定價貳拾錢 郵稅六錢

移轉廣告
漁具及附屬品一式 撚糸及ロープ類 鳥網兎網其他網類 生糸及撚絹糸類
網京商店
京城南大門通二丁目 電話二二九番 振替京城九〇八番

……殆んど皆無で
きは倉庫在米……の殆んど皆無で
亦保合の狀態にありて穀物取引の況
滯を來せしが牛皮は弱な製造元の註
し稍緊縮の中にありと雖、舊正月に
月に際し市場閑散にして出荷極めて
僅かに穀類三百石の出荷を見た
……て多量のアンチピリンを製作し頭痛
……於ける穀物買卸の結果從來資金の流
入の途を失ひたるを以て金融漸次逼
……加藤の兩博士が當ることになつて着
京城金融組合に於ける二月貸出千五
百九十五圓にして回收千四百十四圓
三十二錢なるが之等の用途は轉牛土
……行、活況を呈したるも初旬より舊正
月に入り市場不況取引亦た休止の姿
にして穀類の出廻僅少なりしが諸雜
……日常品の買込手控の傾向にして釜山
地方の米價不變なるにも拘らず比較
……へ買引締りの傾向にて賣物の多く
取引頗る不況なれども諸物價騰貴の
爲め僅かに市場經濟を維持するに不
●釜山穀物市場……は銀行券及び補助
……市場補助貨の流通少く
……は漸次其の跡を斷ちたるかの感あり

京阪合併大相撲

―特派員發電―

十九日午後七時半大阪にて

▲大阪方依然として振はず

―七日目日曜の盛況
東京大錦の休場

十九日の七日目は相撲の人氣のはづみたる折柄の日曜とて開場早々忽ち大入客止となれり

△七日目の勝負

勝　負　勝　負

五十嵐○朝日山　一港○玉垣
○四國洋　濃山　○明　梅若
○玉の川　錦龍　○常の花　朝日嶽
○駒泉　小若島　○寒玉子　休　宮木山
○時ケ嶽　梅川　○源氏山　朝日潟
○琴の浦　鳳車　○紅葉川　朝千鳥
○龍ケ崎　鶴ケ嶽　○宮城山　大嵐
○大の川　有若　○小常陸　緋縅
○紫雲龍　休　玉櫻
○兩國　預　時の矢
○朝日松　○浦の濱
○朝潮　小染川
○大錦　休　松の音　○太刀山　荒岩

△中入後

○敷島　預　日出山　○大砲　○朝緑
○稻の穂　初嵐　○十州山　熊ケ嶽
大達　かへし　○宇都宮
大門　もたれ　○黒瀬川
○對馬洋　たすけ　二瀬川
栃木山　かへし　千舟川
○大鳴門　あびせたほし　加古川
○大蛇潟　よりきり　大錦

●昔は錦前日朝日松との相撲に横腹を痛め休場■太刀山に荒岩は荒立ち上りざま太刀の左手を取つて一寸泉川の型に行きしもきから筈無く右四つとなるや荒獨りジタバタするを太刀左手に上手褌しを確かと取り右手を筈に當てグイグイ押し進み押切つて太刀の勝は愛嬌ありて見物人大嬉び

■大達に宇都宮は右四ツ達喰ひ下がつて寄るを宇都ウンと堪へて左上手を取や強引の上手投に行かんとするを切返し達の勝

■黒瀬川に大門は左四ツ黒瀬右上手を引くや強引に吊り出さんとするを門外掛に防ぎつゝそのまゝ體を預けて凭れ込み門の勝■對馬洋に二瀬川は二瀬鋭どく突かけ懐に突いて押進み押切らんとするを對馬殘しつゝ左を差し廻り込んで打つたる下手投極まり對馬の勝

■栃木山に千舟川は千舟立ち上りさま栃の左手を引張り込みて右手に卷き右足を掴んで得意の掛投に行きし時栃木危ふかりしが殘して拔き上げそのまゝ吊身に寄り切らんとするを千舟殘して再び掛投に行きしが栃又殘して右手を敵の咽喉輪に當て強引に押倒し氣味に切返し栃木の勝

■大鳴門に加古川はバツタリ右四ツとなるや加古早速内掛に凭れんとするを預けて浴びせ鳴門の勝

■大蛇潟に大錦はガツキと左四ツ互ひに右上手を引いて錦喰ひ下れば大蛇上手捻りを見せて寄りを試みしが利かず錦機を見て吊身に寄らんとするを大蛇堪へて逆込み反對に吊身に寄切り大蛇の勝

■梅川に時ケ嶽は時右差しとなるを梅左手に挾み付け右手を當てゝ唯一押に押し切りしも踏み越せる後め時の勝■十八日大錦對朝日松の勝負と同じく九州山に大泉は泉飛び込んで左差しとなれど九其れを泉川に撓めて押すと見せ泉の耐ふるところを左手を以て泉の首を捲ひて捻れば泉の體はコロリと倒る

■兩國と時の矢は時右を筈に當てゝ一氣に押切らんとするを兩敵の右手を捲いて小手投げを打ちしに同體に流れ團扇は兩に上りしも物言ひついて預り

■朝日松に浦の濱は浦一寸突き合ひ互に小手を撓め合つて押し合ふ内左四ツとなるや浦寄り進みて外掛けに凭れ込まんとするを下手投で朝の勝

■朝潮に小染川は小染より突いて立つを朝受け無雑作に突き出して朝の勝■大錦に松の●

△八日目の取組

大阪方	東京方
宮木山	千葉崎
朝日潟	寒玉子
時ケ嶽	朝緑
相生	龍ケ崎
大砲	宇都宮
大泉	源氏山
緋縅	宮城山
玉櫻	鳴門洋
大門	栃木山

大阪方	東京方
日出山	駒泉
鳳車	四國洋
鶴ケ嶽	敷島
鳴門岩	稻の穂
朝千鳥	大の川
大嵐	梅川
大達	九州山
有若	小常陸
二瀬川	黒瀬川

朝日松	大鳴門
西の森	浦の濱
荒岩	對馬洋
千舟川	大蛇潟
加古川	朝潮
大錦・土州山	
小染川	兩國

●決死!!別れの水盃

夜陰に乘じて強襲

戰友の呻吟の聲を後にして突進

日獨戰爭の從軍者にて道回功七級金鵄勳章を賜りたる長崎縣出身步兵第四十六聯隊第五中隊附步兵上等兵下士適任證及善行證書受領者山口清八氏を京城西小門町の寓居に訪ふ何等飾り氣なき朴訥なる氏は極て謙遜の態度もて語つて曰く

私が金鵄勳章を下賜されるやうになつたといふ事を郷里の村役場から知らせて來た時は實に夢心地でありました、何も實戰談など、大袈裟に申上げる程の働きもしてゐませんが折角の御訪問故申上ぐる事に致しませう大正三年九月二十七日夜から例の

豫備步兵上等兵山口清八氏

浮山の敵砲壘攻擊が開始されました際浮山の手前に客日西山といふ小丘がありまして夫れに機關銃を有た敵兵が居りましたが是が吾が軍の前進に非常な妨害となつて差閊へるものですから、大隊長の命で先づ此の小丘を奪取すべく一個分隊の決死隊を各隊から選拔して組織しました、大連にも其の一員に參加する光榮に與かりました、そこで

頑強な小部隊の

親友

等と水盃の別をなし

其夜暗澹たる夜陰に乘じて強襲を試みました、そして其結果目的通り小丘を占領することが出來ましたが、元より決死の覺悟でしたが機關銃の亂射は手酷く浴びましたけれど天祐にも激傷だに負ひませんでした、其れから將校斥候或は兵卒の斥候長として出動した中に九月二十三日午前八時頃山谷で

敵騎三名に邂逅

した際、急遽此方から小銃彈を浴せ掛けて一名を殪しました、敵は負傷しながら横倒れになつて馬腹に鎚れつゝ疾走する乘馬に曳き

摺られて逃走

したのを打眺めた時は實に快絶でありました、吾が中隊の最も苦心したのは浮山の攻擊でしたが此戰鬪は九月二十八日から開始されました、何分一中隊中三十餘名の死傷者を出したことですから隨分激烈なものでした、負傷した戰友の苦しむ呻吟の聲を後にして彈雨の中を突進する時などは譬へ難い哀感が胸に迫りました、而して振り向いて其の蒼白い顔をかと打眺めた時などは國家の爲めとは申しながら實に戰死者に對し可愛想とも氣の毒とも申されません、夫れに私等は恁うして生き殘り叙勲されるなど

是が絕後である

全く勿體無い恐れ多い事であります

愈々陷落して占領した敵砲臺上で凱歌相和し草を燬らしてゐる浮山の捕虜を睹た時も隨分愉快でありました、其日早朝からは特別に快晴で天も我戰勝を壽いで呉れたものでありませう云々

●壯烈の氣眉宇の間に躍る

大阪大錦の談

大阪角力の總帥大錦語つて曰く『東京方は選拔ばかりで七百人、其に對して大阪方は

▲僅に二百八十人なのです 東京方は十日間新手に入れ替へて攻め立てるのですが大阪方は日々同じ顏振です其上體格から申しましても稽古から申しましても大阪は比較になりません併し大阪方は御承知の通り倒れて後止むの覺悟です負も厭はなければ少々位の怪我も厭ひません恁うぞ其意氣と精神とを買つて下さい殊に私の立場をお察し下さい實に

▲擠ひ切れぬ責任を負うて居ります大阪の協會は東京協會と違ひ御話にも爲らぬ程の貧乏で事實を申しますと今が浮沈の界であります若し僥倖に私が横綱でも張れますやうでしたら怎うなり斯うなり立行かれるでしよう其腰砕けなので私は非常に

▲心身を苦しめて居ります 實際心配位辛なものはありませんアノ鳳閣でも一月場所には太刀關が休場のために重い責任を負はされましたので彼麼不成績を得ました……と云つて私は弱音を吐くのぢやありません遣れる所までは遣つて除けますが太刀關は實際日の下開山で迚ても勝目がありませんから番外と致して

▲西の海關と大錦關とを正敵として倒したい覺悟です私の爲めに約三千人と申す組員さへございますので負けては申譯が立ちませぬ』と語調悲調を帶びながら壯烈の氣は眉宇の間に躍つてゐた(大阪特派員發)

十六日(四日目)は相不變好況氣、午後三時頃一陣の烈風と共に黒雲天を掩ふて忽ち雷、雨、霰を降らし、場内大混亂、ふとんを被るやら、席を引き剥がすやら、雜踏を極めたが、其間に天幕に溜つた水が一度にザブリと落下する。その度毎にワツと云ふ聲が揚るが、其でも角力は平氣で取續けて居る。之で合併角力が如何に人氣が有るか分る(大阪にて山下生)

●鎭南浦に商工學校が出來た

▲五月から開校の豫定

要報を經し鎭南浦中村精七郎氏の救育事業寄附金六萬圓を基幹として道廳にて經營せんとする鎭南浦簡易商工學校は愈よ來る五月より開校の豫定なるが科目は

▲商科工科の二科とし工科には造家指物の外當分敎授せず採鑛冶金科を加ふるやう報ずるものあれどそは將來の計畫にて少なくとも簡易學生は現商工簡易商業學校生徒を收容するは勿論新入生は内鮮人共に之の二字の取り去られし後なりと又入學を許すべきが其の數は未だ確定せず而して今回中村精七郎氏は度支部と交渉し果現稅關敷地附近若くば他の適好の地に校舍を

▲二萬圓内外の經費にて道廳に設計を乞ひ中村組監督の下に其の新營をなし直ちに校舍として寄附すべく申出でたり經費は國費補助豫定一千五百圓並に六萬圓の利子及び地方費の若干を合して之れに充つべく利子は當分寄附總額六萬圓を中村組に貸附くる事とし年六分五厘乃ち

約四千圓を收得する勘定なりと(奉天)

●市川齋入死す

大阪の名優にて先年引退せし市川齋入(先代右團治)は數日前胸炎に罹り療養中のところ藥石効なく十九日朝死去せり同人は近代の名優なるのみならず特に山村流の舞踊に長じ又怪談劇に得意也し享年七十有四(大阪特電)

●冒險飛行家東京著

世界的冒險飛行家アート、スミス氏は十八日地洋丸にて橫濱港着午後九時入京帝國ホテルに投宿せり(東京特電)

朝鮮短歌會

原稿締切 本月廿日

●四月三日午後一時開會會場明月館

●舊惡露顯す 京畿道廣州郡樂生面柏峴洞蘇業全聖範(三)は賭博常習者なるが昨年冬頃龍山漢江池の李某方にて罹承三外數名と共に賭奕を爲したること發覺し永登浦署に檢擧さる

●腸窒扶斯發生す 元山泉町四丁目木村喜次郎方同居今中源次郎(二)は腸窒扶斯に罹り入院中十七日朝遂に死亡したり(元山)

●聚古堂の陳列會

何樣月二回の例會といふのであるから前途の遼遠を見越して、さう一挨に珍藏、奇寶の出品を急ぐ人も無いらしいが、其中に有力家、蒐藏家の援助もある關係から適に經緯の有る用品が多い、全部は飛び切つて稀らしいものもないやうだが、見切り品も無い、骨董には支那産の玉類や唐木製品が多く、書畫には、張之洞の五律の金紙が受附の……、屛風が陪に陣取り、紫野の大楠和尚も商賣に貧を見せて、客符面に見つけた、……の幹部然たるも面愉から、……の花片、探幽の小品、山陽の書翰など……我々には何れも見物ならずとこそ存ずれ(トの字)

舌の力

辯護士訪問記

▲昔の裁判

私のこれ迄取扱つた事件としては先づ明治四十四年の朝鮮陰謀事件の

◇辯護が記憶に

殘つて居るやうに思ひます、當時東京からは小川平吉氏、花井卓藏氏、鵜澤總明氏などが來て辯論され京城では專ら私が辯論致しましたがこれは皆さんが既に御承知の事で今更申し上げる程の事でもございません、併し玆數年來——舊韓國政府が日本に司法權を委任した時代からを追懐しますると朝鮮人の裁判沙汰も大分變化して參りました第一四十一年頃は驚くべき大訴訟(司法權委任の當時)が多かつたのであります、從來朝鮮では御役人を相手に訴訟を起すなどといふ事は到底夢にも思はれず假合起したところで人民は敗けるに決定つて居たものであります、其れが俄かに日本の公平な裁判による事となつたので我も我もとむかしの大官や觀察使郡守などを相手取つて訴訟を提起したものであります、訴訟は主として鮮人の

◇勒奪と稱する

土地などを奪り去られた事件のものが多かつたのですが一方大官連もなかなか譎らず種々巧みな證文を作るとか公金費消の辨償のやうな形式にするとか出訴期間が切れたとか云ふやうな事で大概原告側の敗けとなつたやうです、其後訴訟事件は漸次むかしに比して少くなり(近來は米價下落などで一層取引が少なく)なつたやうに思はれます、併し近來注意すべきは鮮人間に人事の訴訟が增へた事で殊に相續爭ひだとか離婚訴訟の如きが多くなつた現象です、以前は子が親を訴へるとか妻が夫を訴へるとかいふ如き總て長上を相手に爭ふといふやうな事は一門の者がなかなか許さずまた社會の制裁もあつたものゝやうですが其れが惡い事になると言ふ事は確かに

◇朝鮮家族制度が

緩み個人主義が發達した結果であると思ひます、離婚は十中の八九妻が夫を厭ふものばかりで亭主が甲斐性無しだから御免を蒙るといふやうな女の虛榮心に基くものが主となつて居ます、次に刑事々件を見まするさ朝鮮特有の強盜沙汰が多いのに驚く程です、何故に特有かと云ふに朝鮮のは多く團體を組つ(殺人の準備金など出せ)などと脅迫する輩の多いことですが是も近來は憲兵制度の完備の爲めに頗る減少しました、また婦人の犯罪には朝鮮固有の本夫殺しといふのがあります、これは結婚制度の罪で夫が妻よりも五六歲乃至十歲も若年である爲めだらうと思ひます、猶ほ鮮人の裁判に對する威念は何れも神聖なるものとして多大の信賴を寄せて居ります(大久保雅彥氏談)

●取消 十九日夕刊の貴紙上十八日夜十時頃荒井牛乳店牛燒せし樣揭載有之候へども右は跡方もなきことにして何等か爲にするもの行爲と存候之が爲め各所より頻々と見舞等に接し甚だ迷惑致居候に付速に此全文を揭げ御取消相成度候也
大正五年三月十九日
京城若草町荒井牧場牛乳販賣部　印
京城日報御中

時代の要求により生れたる【日本文字】
大好評●第一回開講●大正時代に活動する現代人に薦む
ペン習字講習錄
六ケ月卒業 會費 一ケ月金五十錢 三ケ月金一圓四十錢 全學期金貳圓七拾錢
帝國ペン習字會 東京四谷本村町 振替東京二三一四〇

日本文字 ペン習字手本 三浦浩東先生著 定價金九拾錢 郵稅六錢
日本文字の楷行草●假名交り●和歌●算用數字等を網羅す我國唯一のペン手本なり
好評嘖々賣行飛ぶが如し

新刊 日本ペン手本 第一編
三浦浩東先生書 ●定價卅錢郵稅貳錢
手本内容、點畫基礎、假名、數字、楷書
東京市四谷區本村町八番地 香誠堂 振替東京三一九一七

營業案內
京城春川間乘合自働車
片道賃金四圓
○京城發……午前七時
○春川發……午後二時
京城水標橋五十番 京春自働車商會 電二三八

滿第一
漬物味噌問屋 鳴屋本店 京城岡崎町

長壽靈品は ヨーグルト
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇四番
荒井の牛乳 滋養・健康の母

毛皮なめし
御用命御付被下度候
京城本町二丁目 日東商會 電話二二〇番

金銀赤金各種・銅張・レンズ 製作販賣
眼鏡專門 京城黃金町二丁目 振替京城一二九 宮川大學堂

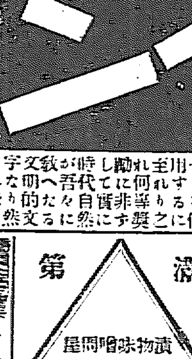
子セル 洋傘
三越に限るとの御高評を蒙れる 三越呉服店 京城本町

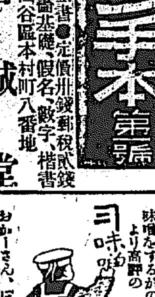
本年の流行品深山取揃申候 ●銀牌受領始政五年記念共進會

石灰の覇王 □肥料用 □建築用 □工業用 □消毒用 □壁化用
製造工場京城麻浦
セメント問屋 佐官材料一式 長谷川商店 電話三八二

城漢江通 京 TRADE MARK S
陸軍用馬毛筋 内外各種ブラシ製造
電話一一三

味噌なするがの富士の山より高評の
おかーさん、ぼくこの味噌がだい好きよ
製造元 遠藤廣吉商店 (電話九八二番)





千生瓢 (159)

須藤南翠作　筒井年峰畫

誘惑（五）

修理大夫正勝が、遂に使命を拜受して退出した後、秀吉はまた尾藤甚右衛門尉を召し出した。

この尾藤甚右衛門尉は、尾張以來織田家の普代であつて、池田勝入の内の者には、多くの知己を以つてゐるから、彼をして先づ池田の眞意を探り聞かしめやうといふ計畫であつた。尾藤は其内命を承はつて、

「小河には荷が重うおざりまするが何も御奉公、一骨折つて見るでおざりまする」と對へて、深く意を決したらしかつた。

秀吉は猶これが注意を與へて、尾藤を出し遣はした後で、更に非常な苦肉の詭計を案じ出した。

同時に使者を勢州長島へ遣して、北畠家の四家老を、大阪に招き寄せた。是れは信雄卿の赫怒に依つて、不時の戰亂の生ずべき處を、四家老が能く事理を辨へて、面を犯して諫言した爲め、平地に波瀾を起す事なく、無事に局面の收まつた、其恩を謝する微志といふ名目であつたので信雄卿も別に疑ひを挾さむ事もなく、四家老を放つて大阪に遣したのであつた。四家老も亦、主家の爲に微忠を盡した事を秀吉の深く恩に被て、士を遇するに深厚な禮節を盡くし、慇懃な招請を徳として、何等の懸念もなく、何等の用意もなく、禮を整へて大阪に赴いたのである。

元來此の四家老は、孰れも國司家の世臣である。中にも勢州飯高郡松ケ島の城主、津川玄蕃亟義冬は、權中納言具敎卿第四の姫を妻としたれば、信雄卿の簾中の姉婿に當つて、其勢ひ一門の如く、信雄卿の爲には得難き輔弼の臣であつた。また瀧川三郎兵衛雄利は、國司家の一族、木造三位俊重の三男に生れ、源城院に入つて修驗道を修めたのであつたが國司家滅絕の後、還俗して瀧川三郎兵衛と名乘り、信雄の卿に仕へて信任を受け、偏諱まで賜はつて、雄利と名乘るに至つたのである。岡田長門守重信は、尾張愛知郡星崎の城主、また淺井田宮丸雄政は、同國知多郡若安賀の城主で、孰れも北畠家の股肱柱石の重臣であつた。秀吉は此等の四家老を大阪に招いて、城下に旅館を與へ、孰れも近侍の者を接待役として、各々別々に待遇したのであつた。

『愈々對面の日となつて、四家老の恭しく進謁した時、秀吉は格別に喜びを述べて、

「其方共は孰れも、智略武備拔群の聞えがある通り、今日まで中將殿を輔佐し進らせ、何事もなく守り立てた段、秀吉別して祝著に存ずる。殊に先頃は思はぬ違亂にも及ぶべき所を、其方共が諫めに依つて、中將殿も思ひ返されたは、双方の幸福。國民の喜悅、偏へに感じ入る。是れと申すも、我等大阪築城以來、天下持の姿になつて、何かと事多く、久しく參會致さぬよりの事と存ずる。就ては、近々孰れにか御出會申して、互ひに意中を盡し申すに於ては、再び先度の如き間違はあるまいと存ずる其方共能く相談致いて、中將殿に申上げるやう、只管馳走頼み入る」と懇談した。

四家老は孰れも秀吉の詞に從ひて「御賢慮の程難有く拜聽仕つる。追て歸國の上、主人に申し上げ候よに於ては、主人に於ても定めて御滿足の儀と、存じ奉つりまする」と對へて拜謁の儀は終つた。

「旅中嘸かし徒然であらう。麁末なる膳部申し付けたれば、別殿に於て緩々過しくりやれ」と申し遣して、秀吉は座を起た。

四家老が導かれて饗應の間に入ると、其處へ運ばれた料理は、實に目を驚かすものであつた。殊に物に熟れた近侍が、上手に強ひ付けるので何れも思はぬ歡醉に入つた。漸くの事でお湯漬を頂戴して、是れにて御暇と思つた時、一人の近侍が出て、「津川玄蕃殿、岡田長門殿、淺井田宮殿、御召しにおざりまする。急ぎ御前へ出させられい」と申し次いた。三人はハツと領承したが、瀧川三郎兵衛ばかりは、手持無沙汰に取り殘された。

東京胃腸病院醫員 山內貞一氏診療に應す
京城南大門通三丁目
胃腸醫院
入院隨意　院主　佐々木杏造（電一六五九）

■銀巢會小集　柳

江東は道遠し柳煙る丘　草二
笈をおろす安堵の埶や窓柳　同
出水走る野縱橫や柳風　同
滿事今柳に殘るはやり唄　同
馴染子の立戾る茶屋や青柳　對洋
洲柳や雲に連る白帆片々　同
橋落ちて柳つなぐ牛二疋　樂水
きざむ櫓の音毎に近き柳哉　拱水
別れ路を雨になり行く柳哉　同
情話退けて窓に名殘や濡柳　句沙彌
猫を叱す窓の灯や柳小雨　同
飛風は沖遠に磯は柳暗し　泥下
灯に暮せて柳輪を雨しとど　同
花に暮れて柳の街を雨灯哉　同
深川を出て町盛り柳かな　同
柳挨る春日も闌けて芝居茶屋　同

新刊紹介

▲政治時論『野聲』　緖論に於て過去の受動的日本より將來の發動的日本を說き歐洲戰爭を以て其の原因たる民族的帝國主義の衝突に歸すると斷じ第二章に於て天下三分論讚に入り各國及我國の政策を論じ第三章に於て世界各國の趨勢を論じ四章人物論に於て近年の政治家名を評して時局の要求せる內容たるを失はず（七十五錢東京市　飛島陸）太千駄木町七（英東社）

▲傀儡（二ノ三）　八錢東京市麴町區富士見町

▲經世（九ノ七）十三錢東京市芝區田村町六共社

▲東京藥種貿易商報（二ノ二九）五錢東京市日本橋區本石町四の一七共社

▲實業之養蜂（二）　五錢岐阜市下竹町九六

▲少年（一五一）　忍術少年一等當の秘密實怪報退治の珍問少年雜君の御遊びになる記事（十一錢東京市京橋區弓町時事新報社）

▲少女（四月號）　同社發行の少年と好一對の少女雜誌にして本號の口繪は特に異彩を放つ（十六錢東京市京橋區時事新報社）

▲少女畫報（五の四）　口繪・記事に新趣向を凝した雜誌なり愛讀少女諸姉は少さな良雜誌となる事受合（十六錢東京市京橋區弓町一東京社）

▲實業之世界（十三の六）　實業之日本に對峙して小品より論說に至る迄の大家の論說を網羅せり學校出と小僧上りの三宅博士市立商科大學論舗畑博士實業家の大騷ぎの三宅雪嶺男等なるもの也（十一錢東京市麴町區内幸町）

▲貝原益軒十訓行錄　朱子系統の一巨儒たると共に醫學家たる國學者たり其の三訓を纂めたる書原益軒の言訓の仕記（上編・中編・下編）三十錢東京市牛込區藥王寺町一東亞堂書房）

▲新撰敍事文講話　佐々木醍醐著にして文は秩序的に作法を說けるが意を得ず力ある敍事の下に主意を明にして推敲を重ね文章を錬らすが所見の著なりと言ふの外なし（一圓東京市京橋區南傳馬町二の五日黑井店）

▲陸海軍人物史論　曾て陸軍諸太閤に連載せしものを集成す海軍篇海軍篇に分ち數百名を拉し來つて痛に上す蓋し快著たるを失はず（一圓二十錢東京市日本橋區博文館）

讀者の領分

▲愛國の血は紅に地圖の色、染めて撰ごる旭の國の、光り輝く新領土、振へ男の腕振へ。アイゴ、チヨスミダー（快心生）▲芙蓉生君の投書中愉快なる記事の場所云々には小生も大いに同感にて候就いては從前の通り讀者文藝欄を設けられ我々一般愛讀者の趣味益々深からしめんことを切に期待して止ます（愛讀者）▲早く活動寫眞觀覽の同席を許さるゝ樣お願します（若夫婦）▲大魏太平眞君四年は今より何年程前にて支那年號なる哉又は朝鮮古代なる哉御敎示を乞ふ（古今生）▲京城市內に薩摩琵琶を御指南下さる方はございませんでせうか（新渡鮮の女）▲本社の廣告に出て居ます（係）

◉四月の娛樂世界　講談の面白いのと其道の新しいのが例で近頃非常に賞用した本誌は四月號より園丁の樂平を五郎に又東大名が競せた悪くある事がれは頗者自慢の世話物で此一編丈でも本誌の價値は充分であると言ふ其他の讀物で其他諸種讀物極めて充てる價廿錢

◉日本少年四月號　東京實業之日本社發行［日本少年］四月號には雜誌日本少年國調べの發展より此外日露戰爭の特殊論文等多數の讀物がある等敎育者等少年に必要の讀本にして其他小說讀物連載多く小學校中等府縣中學入學試驗問題は特に中學校生必要なる記事なり

◉日本新美會　美術學校及白馬會同其他新進畫家の手になれる油繪を供給し且洋畫趣味の普及を計らん爲め組織されたる同會は事務所を芝白金臺町一の四十に置き非營利的廉價を以て月賦提供を爲すべしと

六〇六の輸出

歐洲戰亂以來我國藥品輸入の道が途絕したため[illegible]

を製作する方法だけは發見されたが原料資金の乏しいため思ひ切つて大製作に取掛ることが出來ない、其處[illegible]

の製作に努力中であるが最近の狀況に就き語るやう『例の六〇六號は其處は非常に成績が好くて目下の處では[illegible]

國の需用をすら滿足させることが出來ない其處で今回

▲政府の補助を得て[illegible]

居る新工場の建設坪數は約二千坪を當て來る四月中旬頃から實際の製造に取掛る筈である、職工等は市內[illegible]

に五六萬ポンドである是れを滿足させるには一日に約二百ポンド前後を製作すれば足りるので先づ其位の製[illegible]

のであるが歐洲戰爭は終局を告げ補助もなくなつた場合には果して海外[illegible]

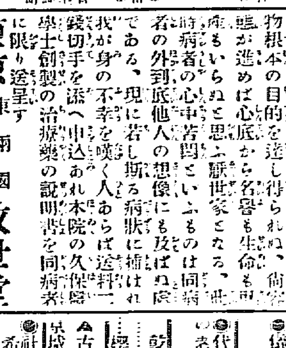
本邦期米界も昨三日來活氣を呈せし爲め當地正米界も氣配强硬を來し殆出口並に精米筋とも多少買ひ進み[illegible]

にて底意手堅く相場は大幅乃至十五錢高なり

▲大豆　相場は[illegible]

●生殖器性神經衰弱と● 腦神經
衰弱病者の容態　先づ頭痛、逆上、眩暈、耳鳴を來し、夜は眠れず、眠るとも惡夢に襲はれる、首筋から肩にかけて苦しくコル、食に美味を感せず、便通がない、動悸して胸が苦しい、頭が重い、見開して快感がない、少事を苦慮する、求めて心配苦勞をする、記憶力、判斷力等が減退する、驚き易くなる、怒り悲しみ、陰痿、遺精、早漏等の衰弱となり子孫の蕃殖は望めぬ、交接不能となり生殖器も、物の根本の目的を遂し得られぬ、進めば心底から名譽も生命も呪ふ厭世家となる、此の病者の心中苦悶は他人の想像にも及ばぬ者の外に到底若し斯る病狀に捕はれた人あらば本院の久保醫學士創製の治療藥の說明書を送料一錢切手を添へ申込あれば同病者に限り送呈す
東京小泉町二八南國 救世堂

胃弱家の顏色
胃が病めば、食物が消化せず、血液が惡く、顏色が青黑くなり、循環が惡く、根氣と勇氣が無くなる、此の事には五大軍醫の合議製藥として評判の好い胃活を飮むに限ります、時には後刻と言へば時機を過ごす、今直ぐに

胃病良藥

胃活
定價　胃活　一圓、五拾錢、三十五錢、廿錢、十錢　胃活錠　一圓、五拾錢
請賣　全國及海外藥所の各藥店にあり
本舖　東京日本橋本銀町　山田安民藥房　大阪南久寶寺町二　山田安民藥房

男も女も見落す勿れ
花柳病豫防藥　ラーオ　約廿回分五十錢　小包送料十二錢
本劑は官せられたる神奈川縣警察部の花柳病豫防藥に改良を加へて最新特效藥たる不快を減せず使用法の便利なる事は最も特長とする所なり

●●變形子宮 ●特別精撰 ルーデサック
右サック類は精製せる完全確實なるものにて被の使用中に於て破損するが如き粗製劣等品とは全く其撰を異にす
價格は卸小賣共廉價にて一個にても販賣す御注文に應ず多少に拘らず只御試用を乞ふ
京城南大門外停車場通
滿鮮本部 ドラッグ商會
電話二五六七番　振替京城四六七番

朝鮮總督府
一石炭壹千七百噸
右購買ス詳細ハ三月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

購買公告
一半紙白紙外十九點
詳細ハ本月十七日朝鮮總督府官報及部門前揭示ヲ見ヨ
朝鮮駐剳憲兵隊司令部

朝顏種子
珍種色々●銘鑑並栽培法一部郵券三錢封入御申越次第送呈
京都木屋町松原下る　朝顏園種子部

京日案內

普通（匿名一回前金十錢）
儀式用衣裳かし　南大門通五丁目　篠部商店　442

◉代診生及見習看護婦入用　希望の者は仁川京日支局に來談あれ　仁川山手町京城日報仁川支局　450

乾電池は　黃金町三　巴商行　優良　電話一四二五番　436

◉御報即時參上 ◉地方即時送金　古本買受　京城本町電話二五二七　ウツボヤ書店　560

◉社員募集　相當の地位を授く　希望者は履歷書携帶至急乞來談　黃金町　シンガーミシン會社　455

場所行望の地　飲食店讓り渡す　希望者は北米倉町一五六番地へ　452

▲學生諸氏　▲前學期分の御不用の敎科書類高價買入　京城本町二電二五二七　ウツボヤ書店　453

番外（匿名一回前金六十錢）
◉はねつき等　うちみくじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　541

京城永樂町一商品陳列館坂の上
皮膚病 花柳病 專門 須古醫院　電話二一〇二番　551

恩給年金公債證書立替買入　櫻井町大正館向　元博多屋　電話一一三番　本店　581

間自働車　賃片道四圓　京城發午前七時　春川發午後二時　京城水標橋五十　電話三八　京春自働車商會　支配人松田壽男　594

內科 小兒科 花柳病 皮膚病　錦城醫院　京城北米倉町（注連內醫院跡）　院主 金谷友經　電話五九五番　415

龍山むしぶろ　▲かつけ ▲りよまち ▲子宮 ▲婦人ひゑしよ　其他諸病に特効あり　▲是非一度御試浴あれ ▲むしぶろ　416

淋病梅毒妙藥　渡邊藥劑師責任製劑　京城南大門正面　電話二五八三番　救世藥舘　446

向貸家　住宅家賃月金貳拾圓內外數戶あり入用の方は旭町一丁目小森材木店又は吉野町一丁目中村修道方へ　京城吉野町一丁目　518

ネルソン百科全書　格安にて賣度希望の方は本町二丁目　正氣堂名刺舖　電話二一九五番　454

滿蒙處分論　發賣大木雅樂　クロパトキン將軍原著　京城日報代理部　定價金一圓　郵稅本社負擔　振替貯金京城三〇〇

日韓書房　新版報吉
日鮮文對照　朝鮮鑛業令　定價金六拾錢　送料八錢
清水正己著　小賣商店廣告術　定價九拾錢　送料八錢
國城寺良賀用　新聞雜誌廣告圖案　定價五十錢　送料六錢
清水正己著　飾窓背景圖案　定價七十五錢　送料十二錢
石田梅吉著　珠算通解　定價七十五錢　送料八錢
京城本町二丁目　電話一二二五　振替口座五四一

ジャムパンクリームパンアンパンを早く買はせ賣り切れぬ間に　京城明治町木村屋　電話二八七〇番

かぜ ねつ 最良藥

アンチピリン丸　蛇印
商標に注意
三大特長　一、藥の效確實　二、副作用なし　三、胃中に溶易し
◉かぜ ◉ねつ ◉流行性感冒 ◉頭痛 ◉おこり
十錠十五錢　廿五錠　家庭用五十錠
本舖大阪東京 丹平商會　賣捌は全國各藥店に

新刊書御案內

書名	著者	定價
◉生物學講話	丘淺次郎	四五〇
◉進化論	谷津列	一五〇
◉物理學計算理論講義	清水	九〇
◉無門關講義	釋宗演	八〇
◉文字の訓練	村、桜時	一七五
◉人生の裏面	村上浪六	一〇〇
◉信念の發揮	南條文雄	一〇〇
◉ろ法と買わせる法	佐藤信太郎	一七〇
◉陸海軍人物史論	安井滄溟	一二〇
◉獨逸興國か滅亡か	木村二	八〇
◉遠元錄	相馬御風	六〇
◉心の眼	稻毛詛風	九五
◉キップリング短篇小說	馬場恒吾譯	二五
◉名金探險小說	背木静間	五〇
◉續名金		五〇
◉伊達騷動	貞玉	三〇
◉女のうらおもて	菅州有美	九五
◉世界名士の癖	岡本軒村	四五

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番　振替京城七二五

ルーデサック
は衞生の必要品なり當分の內廣告の爲め左の特價にて提供す A十個四十錢 B 十個四十錢 一個七錢 郵税十個六錢 鶏形一個五錢 女用一個八錢 郵税一割增 京城黃金町三丁目 山田文代珠堂藥房 電話元兒番 振替京城三毛番
見本提供 AB二種を振替又は郵券代用十八錢にて送附す

ね小便
●又は小便近きにて御困りの方は二錢切手一枚封入御照會下さい　きつと（ナヲル）藥と發生法を御知らせ致します全治者より毎日禮狀がたくさんまゐります
京城府下谷區御徒士町一　神明堂

墨書(?)　妙題　無代
京日藥目一點水　いつてんすい　よしきく
論より證據御用ゐてチキ判る　無効の時は藥を呈す　効能特效無恐　類價十錢
東京築地二タイガー商會　各藥店にあり

慶北道廳　東拓會社　御指定
旅館 加賀屋　慶北尙州
熟練の料理番を增雇し特に御來客の待遇に注意致させ候へば何卒御愛顧の程願上候

金泉尙州間自動車發著時間表
上り　一番　二番　下り　一番　二番
[illegible]

織居自動車支部
▲金泉　電話四八番（架設中）
富分右の通り運轉す

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
三河丸　三月廿一日　正午出帆
相模丸　四月四日　正午出帆
高砂丸　四月十日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路（遠洋航路を除く）間連絡の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
○汕頭丸　三月廿八日　午後五時
×天智丸　三月廿五日　出帆
×宮島丸　三月廿二日
木浦、群山、長崎行▲は鎭南浦に寄港
○安東丸　三月廿四日　午後二時
×城津丸　三月二十日　出帆
鎭南浦、大連行
▲安東丸　三月二十日　午後二時
信濃川丸　三月廿八日　正午出帆
禪州丸　三月　日
大連直行
○潮州丸　三月廿六日　正午出帆
△福州丸　四月一日
群山、釜山、橫濱行
○潮州丸　三月卅一日　午後二時
△福州丸　四月八日　出帆
清津、浦潮行（元山出帆）
○須磨丸　三月廿七日　午後二時
△臺北丸　三月　日
大智丸　三月廿二日　出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
▲湖北丸　四月一日　午後十時
新高丸　三月廿四日　後四時出
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番
京城切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行相客に對し門司迄一割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

共同汽船仁川出帆
第一共同丸　芝罘、大連行　三月十九日後二時入　三月廿一日前九時出
城津、清津、浦潮行（元山出帆）
第一阪鶴丸　月　日前九時　月　日後九時出港
第三□□丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日前入　月　日出帆
阿波國共同汽船株式會社
京城本町一丁目　山下回漕部
仁川代理店　田口回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山木浦釜山下關神戶大阪行
秀吉丸　三月廿九日後四時出帆
大有丸　三月廿二日後四時出帆
神代丸　三月二十日後四時出帆
蛟龍丸　月　日後四時出帆
君が代丸　月　日後四時出帆
仁川本町　杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○元山清津浦潮行　立神丸　三月廿一日後五時出帆
○門司、神戶、大阪行　立神丸　三月　日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　三月　日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行　小倉丸　月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　三月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　三月十九日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、蘆敷、博多行　大興丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
釜山埠頭　大池回漕部

朝鮮郵船出帆
全羅丸　三月廿三日
京畿丸　四月二日
咸鏡丸　三月廿七日　門司より各港寄港濟州島行　釜山發
鏡城丸　三月廿四日
昌平丸　三月廿二日
鏡城丸　三月廿八日　元山より各港經由雄基行　元山發
忠淸丸　四月十二日
平安丸　三月二十日　城津清津浦潮行　復航釜山より門司又は長崎行　元山發
永興丸　毎月廿八日回　北久茂五里浦行　元山發
德盛丸　三月廿一日　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱島行　釜山發
江陵丸　毎日　長生浦、方魚津寄港　釜山（浦項）發
三浦丸　三月廿三日　長承浦、固城、巨文島、麗水寄港　釜山發
海營丸　巨濟丸　毎日　釜山發
順天丸　三日目毎　各港經由麗水行（三日目一回木浦行）　木浦發
慶興丸　三月廿五日　各港經由濟州島行（西廻）　木浦發
公州丸　三月廿一日　南多島海列島行（月三回）　木浦發
公州丸　三月十九日　各港經由濟州島行（東廻）　木浦發
宗信丸　三月廿二日　海州龍岩浦各港經由、鎭南浦又は白翎島行　仁川發
江原丸　三月廿七日　芝罘、大連、青島行　仁川發
鹿州丸　三月廿八日
晉水丸　三月廿三日　各港經由木浦行　仁川發
錦江丸　南陽丸　毎日午前　江華島、海州行　仁川發
平安丸　三月廿三日　三月廿八日　仁川、鎭南浦間、大黑山、木浦、門司、若松行　群山發　若松發
朝鮮郵船　本社　電話長一九五三番
一沿岸及外航船と荷客運送の連絡あり、詳細は支店、出張所、代理店、商客取扱店に御照會相成度候
京城南大門前　京城商客取次店　松原運送店（電話一二七七）